

平成28年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書(案)

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

1. 法人の概況

事業所所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 57-7551
代表者職氏名	: 理事長 大池良平
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

平成29年3月31日現在

社会 福祉 事業	第一種	施設種別	: 障害者支援施設 (生活介護・施設入所支援)
		名称	: ふじの木園
		施設長名	: 春日井昌市
		定員	: 50名
	第二種	事業種別	: 障害福祉サービス事業 (生活介護)
		名称	: ときわ作業所
		施設長名	: 三ツ口和男
		定員	: 55名
	事業種別	: 地域活動支援センター (Ⅱ型) 【江南市指定管理】	
	名称	: 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ	
	施設長名	: 春日井裕美	
	定員	: 25名	
	事業種別	: 地域活動支援センター (Ⅲ型) 【江南市指定管理】	
	名称	: 江南市中心身障害者小規模授産施設	
	施設長名	: 三ツ口和男	
	定員	: 概ね15名	
	事業種別	: 障害福祉サービス事業 (短期入所)	
	名称	: ふじの木園	
	施設長名	: 春日井昌市	
	定員	: 5名	
	事業種別	: 障害福祉サービス事業 (共同生活援助 (介護サービス包括型グループホーム))	
	名称	: ときわホーム「ニコット」	
	施設長名	: 三ツ口和男	
	定員	: 6名	
	事業種別	: 障害福祉サービス事業 (特定相談支援)	
	名称	: ふじの木園	
	施設長名	: 春日井昌市	

公益事業	事業種別	: 貸館事業【江南市指定管理】
	名称	: 江南在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ
	施設長名	: 春日井裕美
	定員	: 25名
	事業種別	: 日中一時支援事業
	名称	: ときわ作業所
	施設長名	: 三ツ口和男
	定員	: 5名
	事業種別	: 日中一時支援事業
	名称	: ふじの木園
	施設長名	: 春日井昌市
	定員	: 5名

3. 職員数

平成29年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別	施設長	事務長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
ふじの木園	生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時	常勤	正規	1 (1)	※1	1	1	1	16 (1)	2				22 (2)	31 (2)	
			契約						2					2 (0)		
		非常勤							7					7 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)					2 (1)						3 (2)	3 (2)
			契約												0 (0)	
		非常勤												0 (0)		
ときわ作業所	生活介護 日中一時	常勤	正規	1 (1)		1			4 (4)					6 (5)	23 (11)	
			契約						6 (3)	1				7 (3)		
		非常勤					1 (1)		9 (2)					10 (3)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)		1 (1)			4 (4)				※4	6 (6)	12 (9)	
			契約						3 (3)				※3	3 (3)		
		非常勤							※3				3	3 (0)		
あゆみ (II)型	地域活動 センター	常勤	正規	※1					2	1 (1)				3 (1)	12 (4)	
			契約						1					1 (0)		
		非常勤					2 (1)		3			3 (2)		8 (3)		
小規模 (III)型	地域活動 センター	常勤	正規	1 (1)					2	1 (1)				4 (2)	6 (2)	
			契約						1					1 (0)		
		非常勤							1					1 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の()は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 社会福祉法人等への指導監査（江南市）

監 査 実 施 日	平成28年 8月10日
監 査 方 法	実地監査
監 査 対 象 事 項	法人本部（運営・経理）
監 査 実 施 官 庁	江南市健康福祉部 福祉課 基幹相談グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
平成28年8月19日付 江南市長 澤田和延 28江福第138-1号 監査対象：法人本部 監査結果：指摘事項なし	

イ 社会福祉法人等への指導監査（愛知県）

監 査 実 施 日	平成28年 8月10日
監 査 方 法	実地監査
監 査 対 象 事 項	障害者支援施設 ふじの木園（運営・経理）
監 査 実 施 官 庁	愛知県健康福祉部 健康福祉総務課 監査指導室法人監査グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
平成28年10月4日付 愛知県知事 大村秀章 28健福第270-99号 監査対象：ふじの木園 共同募金会からの受益者指定寄附金の配分金のうち、経常経費に係る配分金は、補助金事業収入及び補助金事業収益に計上すること。	従前は経常経費寄附金収入（収益）で会計処理を行っていたが、今年度より、該当する共同募金会からの配分金があった場合については、指示のあった補助金事業収入（収益）で会計処理を行うこととした。

ウ 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

監 査 実 施 日	平成28年 8月10日
監 査 方 法	実地指導
監 査 対 象 事 項	ふじの木園（施設入所支援、生活介護、短期入所） ときわホーム（共同生活援助）
監 査 実 施 官 庁	愛知県健康福祉部 健康福祉総務課 監査指導室 障害福祉事業者指導監査グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
<p>1. ふじの木園（施設入所支援） 入院時外泊時加算の算定について算定できない事例が見受けられたので、自主点検の上、必要な措置を講ずること（長期入院者のベッドを短期入所者へのサービスで活用する場合）</p> <p>入院・外泊時加算（Ⅱ）の算定にあたっては、特段の事情（利用者の事情により病院又は診療所を訪問できない場合）をのぞき、原則1週間に1回以上病院又は診療所を訪問する必要があることに留意し、特段の事情がある場合はその具体的な内容（家族、病院等との連絡調整を含む）を適切に記録に残すこと。</p> <p>2. ふじの木園（生活介護・短期入所） 確認の上指示事項なし</p> <p>3. ときわホーム（共同生活援助） 職員の出勤実績記録を適切に残すこと</p> <p>非常災害対策計画の内容の充実を図り、従業員に対し周知すること</p> <p>契約書の内容を適切に改めること</p> <p>4. 業務管理 法令等の遵守に係る基本方針等を定め、各事業所の従業者に対して周知すること</p>	<p>1. ふじの木園（施設入所支援） 自主点検を改めて行った結果、該当する事例は指摘のあった日（H27. 9. 3）の1件であることを確認し、江南市に報告後、該当日の入院・外泊時加算については返戻した。</p> <p>原則1週間に1回以上病院又は診療所を訪問する必要があることに留意し、特段の事情がある場合はその具体的な内容（家族、病院等との連絡調整を含む）を適切に記録に残していく。具体的な内容として、本人の精神状況等により訪問が難しい場合や、家族同席が必要な訪問だが家族が立ち会えない理由があり訪問できない場合はその記録を適切に残していく。また、施設のみで訪問を希望する際は、家族、病院の了承を得た上で行き、その結果について家族へ報告し、適切に記録に残していくこととした。</p> <p>3. ときわホーム（共同生活援助） ホーム業務日に出勤簿にホーム印を押し明確にすることで、出勤状況の管理を適切に行うこととした。</p> <p>非常災害対策計画を整備し、職員に対して周知した。</p> <p>契約書の記載内容を適切に改めた。</p> <p>4. 業務管理 法令遵守要領を整備し、各事業所の従業者に対して基本方針等を周知した。</p>

5. 契約に関する事項

平成29年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	滝敏之	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森博一	畑	1年	無償	自動更新
平成19年12月18日	高田大覚	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

平成29年3月31日現在

寄付の目的	寄付者（敬称略）	件数 件	金額 円
社会福祉事業資金 （本部）	匿名	3件	40,039,000円
	榑亭番屋	1件	40,400円
	江南市農業まつり運営協議会	1件	24,410円
	ときわ会後援会	1件	396,881円
	ふくし江南ふれあいまつり実行委員会	1件	52,500円
	小林昭次	1件	50,000円
	小松憲治	1件	50,000円
	松川昇次	1件	200,000円
	小計	10件	40,853,191円
ふじの木園	森内本造	12件	143,000円
	ふじの木園保護者会	3件	4,317,000円
	岸光明	1件	30,000円
	成内孝子	1件	30,000円
	小計	17件	4,520,000円
ときわ作業所	長谷川豊	10件	117,000円
	高松文昭	1件	15,000円
	仲市美智恵	1件	5,000円
	小計	12件	137,000円
合計		39件	45,510,191円

7. 資産（土地・建物）の状況

平成29年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日	
			定款	登録簿		提供の有無	提供先	所轄庁の 承認の有無		
基本財産			㎡	㎡						
1 土地	江南市後飛保町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無				
	江南市後飛保町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無				
	江南市河野町五十間115番	宅地	962.00	962.0		無				
	江南市後飛保町高瀬67番1	雑種地	35	35.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番2	雑種地	57	57.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番3	雑種地	50	50.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番4	雑種地	75	75.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番5	雑種地	31	31.00		無				
	江南市後飛保町高瀬54番	雑種地	194	194.00		無				
	江南市後飛保町高瀬55番	雑種地	302	302.00		無				
	江南市河野町五十間87番	雑種地	321	321.00		無				
	江南市宮田神明町旭190番	畑	365	365		無				
	2 建物	江南市後飛保町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無			
		江南市後飛保町高瀬68番地	鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	有	独立行政法人 福祉医療機構	有	平成14年2月28日
江南市河野町五十間88番地										
江南市河野町五十間115番地		木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無				

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
平成28年 5月27日	①議案第1号 平成27年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告について②議案第2号 平成27年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算について	有
平成28年 12月20日	①議案第3号 社会福祉法人ときわ会評議員の辞任に伴う評議員の選任について ②議案第4号 社会福祉法人ときわ会施設運営会議委員の辞任に伴う施設運営会議委員の指名について ③議案第5号 社会福祉法人ときわ会定款の全部変更について ④議案第6号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について ⑤議案第7号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑥議案第8号 社会福祉法人ときわ会評議員候補者の推薦について ⑦議案第9号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会の招集について ⑧議案第10号 社会福祉法人ときわ会役員等報酬規程の制定について（※平成29年4月1日以降に再審議） ⑨議案第11号 社会福祉法人ときわ会の福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について	有
平成29年 3月28日	①議案第12号 社会福祉法人ときわ会法人事務局の設置について ②議案第13号 社会福祉法人ときわ会法人事務局事務局長・事務局参事の選任について ③議案第14号 社会福祉法人ときわ会定款内規の一部変更について ④議案第15号 社会福祉法人ときわ会経理規程の全部改正について ⑤議案第16号 社会福祉法人ときわ会職員就業規則の一部変更について	有

<p>平成29年 3月28日</p>	<p>⑥議案第17号 社会福祉法人ときわ会育児・介護休業等に関する規則の制定について</p> <p>⑦議案第18号 社会福祉法人ときわ会職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>⑧議案第19号 社会福祉法人ときわ会契約職員雇用規程の一部改正について</p> <p>⑨議案第20号 平成28年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算について</p> <p>⑩議案第21号 平成29年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）について</p> <p>⑪議案第22号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分資金収支予算（案）について</p>	<p>有</p>
------------------------	---	----------

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
<p>平成28年 5月27日</p>	<p>①議案第1号 社会福祉法人ときわ会監事の辞任に伴う監事の選任について</p> <p>②議案第2号 平成27年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告について</p> <p>③議案第3号 平成27年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算について</p>	<p>有</p>
<p>平成28年 12月20日</p>	<p>①議案第4号 社会福祉法人ときわ会理事の辞任に伴う理事の選任について</p> <p>②議案第5号 社会福祉法人ときわ会定款の全部変更について</p> <p>③議案第6号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について</p> <p>④議案第7号 社会福祉法人ときわ会役員等報酬規程の制定について（※平成29年4月1日以降に再審議）</p> <p>⑤議案第8号 社会福祉法人ときわ会の福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について</p>	<p>有</p>

<p>平成29年 3月28日</p>	<p>①議案第9号 社会福祉法人ときわ会理事の辞任に伴う理事の選任について</p> <p>②議案第10号 社会福祉法人ときわ会法人事務局の設置について</p> <p>③議案第11号 社会福祉法人ときわ会定款内規の一部変更について</p> <p>④議案第12号 社会福祉法人ときわ会経理規程の全部改正について</p> <p>⑤議案第13号 社会福祉法人ときわ会職員就業規則の一部変更について</p> <p>⑥議案第14号 社会福祉法人ときわ会育児・介護休業等に関する規則の制定について</p> <p>⑦議案第15号 社会福祉法人ときわ会職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>⑧議案第16号 社会福祉法人ときわ会契約職員雇用規程の一部改正について</p> <p>⑨議案第17号 平成28年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算について</p> <p>⑩議案第18号 平成29年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）について</p> <p>⑪議案第19号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分資金収支予算（案）について</p>	<p>有</p>
------------------------	--	----------

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
<p>平成28年 5月16日</p>	<p>駒田謙二 陸浦歳之</p>	<p>平成27年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める</p>	

11. 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	議 題	備考
<p>平成29年 3月22日</p>	<p>①議案第1号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会の委員長の選任について</p> <p>②議案第2号 社会福祉法人ときわ会評議員の任期満了に伴う評議員の選任について</p>	

1 2. 施設運営会議の開催

委員長：佐々木直(理事)

委員：中西和子(理事) 兼岩國太(評議員(12月)) 大脇昭夫(評議員(1月から))
三ツ口和男(ときわ作業所施設長) 春日井昌市(ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平(ふじの木園事務長) 古田貴(ふじの木園主任事務員)

開催年月日	内 容	備考
平成28年 5月20日	・理事会・評議員会の議案及び資料について ・職員採用試験について	
平成28年 10月7日	・社会福祉法人制度改革における法人役員及び評議員について ・定款変更について ・役員報酬及び職員給与等について ・ふじの木園防犯対策について ・補正予算について ・新規採用職員の採用状況について ・契約職員の正規登用試験について	
平成28年 12月14日	・理事会・評議員会の議案及び資料について ・高齢職員の給与について	
平成29年 1月24日	・ときわバザー精算報告について ・入所施設の防犯対策の強化について ・社会福祉充実計画について ・職員組織体制・職務級等の見直しについて ・法人事務局の設置について ・平成29年度事業計画骨子・予算骨子について	
平成29年 2月20日	・法人事務局の設置及び職員組織体制の見直しについて ・社会福祉充実計画について ・理事会・評議員会の議案について ・福田清成相談役の退任について ・業者指名審査について	
平成29年 3月22日	・理事会・評議員会の議案及び資料について ・ふじの木園・ときわ作業所給食委託業者の入札について	

1 3. 施設間連絡調整会議の開催

委員長：本間浩平(ふじの木園事務長)

副委員長：古田貴(ふじの木園主任事務員)

委員：長谷川徹(ときわホームサービス管理責任者)

春日井裕美(あゆみ施設長)

大川内誠(ふじの木園主任支援員)

長縄健(ふじの木園主任相談支援専門員)

林宏和(ときわ作業所主任サービス管理責任者)

総括：三ツ口和男(ときわ作業所施設長)

春日井昌市(ふじの木園施設長)

開催年月日	主 な 内 容	備 考
平成28年 4月5日	・決算・事業報告について ・県体制届提出、規程等変更について	
平成28年 4月27日	・理事会・評議員会議案及び資料について ・後援会総会について ・各種部会等の活動予定について	
平成28年 7月7日	・契約職員の正規職員登用試験について ・心身障害者（児）連絡協議会打合せ結果について	
平成28年 8月23日	・夜勤及び宿直者の健康診断について ・職員インフルエンザ予防接種について	
平成28年 9月27日	・契約職員の正規職員登用試験について ・ときわバザー実行委員会より	
平成28年 11月8日	・法人事業推進部会より中期計画進捗状況について ・常勤職員健康診断について	
平成28年 12月5日	・理事会・評議員会の議案等について ・交流会実行委員会より	
平成29年 1月10日	・職員の採用状況について ・事業計画及び予算骨子について	
平成29年 2月10日	・事業計画及び予算について ・職員全体会議について	
平成29年 3月3日	・理事会・評議員会の議案等について ・法人事務局の設置について ・職員組織体制・職務級の見直しについて ・社会福祉充実計画（案）について ・初任給及び各種手当の見直しについて ・各種部会・会議について	

14. 中期計画の平成28年度の取り組みについて

(1) 社会福祉法等の改正への対応と法人の組織強化について

社会福祉法等の改正へ対応については、江南市や関連団体の主催した説明会等で、理事会・評議員会の位置付けをはじめとした、多くの改正の内容を把握した後、定款の変更をはじめ、関連する規程の整備を行った。

法人の組織強化については、社会福祉法人制度改革に対応し、法人本部機能を強化するため、職種を追加、各施設・事業所の管理職範囲の拡大、主幹職の追加、役職名の見直し等を行ない平成29年4月1日に法人事務局を開設することとした。

[主な会議等]

- ・法人事務局設置部会（年5回開催）
- ・江南市定款ヒアリング（2回実施）

(2) 職員の確保定着・処遇改善について

職員の確保定着については、近年、求人フェアへの積極的な参加や、ホームページ等の広告内容の見直し等を行ってきたが、応募者も少なく各施設・事業所が標榜する人員の配置には至っていないため、障害者施設を運営する他法人の状況

を参考に、新規職員の確保と既存の職員の定着のための処遇改善を目的に各種手当の見直しを行った。

処遇改善については、職員の育児や介護等を原因とした離職を防ぎ、仕事との両立を支援していくことを目的に、育児・介護休業等に関する規則を制定した。

また、年金受給年齢の引き上げ等の社会情勢への対応として役職等定年制度の導入と60歳以上の職員の給与の見直しを行った。

[主な会議等]

- ・職員全体会議（3月30日開催）

(3) 将来的な入所系施設整備の研究について

社会福祉法人の制度改革に伴う社会福祉充実計画の策定に向けた調査研究を進めた結果、社会福祉充実残額の使途として、職員の処遇改善や新たな人材の雇入れ、新たな入所系サービスの整備を充実残高の使途の活用案としていくこととした。また、既存の建物の建て替え等についても引き続き調査を継続していくこととなった。

(4) 各施設・事業所の中期計画の検証について

法人本部、施設、事業所の中期計画(第1期 平成28年度)の達成度や実施状況等について検証し、次年度の中期計画(第2期 平成29年度)の内容の改善や見直しの必要性を整理し、平成29年度の事業計画の中に位置付けた。

[主な会議等]

- ・法人事業推進部会（年2回開催）

平成28年度 ふじの木園 事業報告書(案)

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会

事業種別 指定障害者支援施設

[障害者支援施設(施設入所支援・生活介護事業)]

施設名 ふじの木園

所在地 江南市河野町五十間88番地

事業内容と定員 (1)障害者支援施設

①施設入所支援 50名(現員50名)

②生活介護 50名(現員50名 施設入所支援と同者)

③短期入所 5名(随時)

④日中一時支援 5名(随時)

(2)特定相談支援事業

特定相談支援 随時

対象者 障害支援区分4以上(50歳以上は区分3以上)である者

職員等 [職員]・正規22名・契約2名・パート7名 計31名

[他]・嘱託医(内科)1名

・講師(音楽療法・軽運動・機能訓練)5名 計6名

職員 (人)

	施設長	主任相談支援 兼事務長	事務員		支援員		
			主任 事務員	事務員	主任 支援員	副主任 支援員	支援員
男	1	1	1	1	1	1	6
女	0	0	0	0		1	8 (7)
合計	1	1	2		17(7)		

	相談支援 専門員	看護師	栄養士	合計
男	1	0	0	13
女	※1	1	1	11 (7)
合計	2 (内1名兼務)	1	1	24 (7)

()内はパート職員数、別掲 ※は副主任支援員兼務

2 事業総括

(1) 障害者支援施設

①施設入所支援・②生活介護

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行ってきた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、3つの活動班と1つの高齢化、重度化に対応したグループからなる生産活動、音楽療法等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

施設の課題である利用者の高齢化、障害の重度化による身体機能維持の目的に対応していくため、施設で行う機能訓練や整形外科病院でのリハビリテーション受診などの充実や、ゆとりのある活動を目的とした高齢者中心の班活動を実施した。さらに環境整備のための夜間就寝中の転倒防止や排尿の介助に備えるため離床センサー4台と呼び出しコール2台を整備すると共に、車椅子やリフト浴の使用を積極的に取り入れた。また、地域貢献の一環として地域清掃活動を実施し、施設周辺の清掃に取り組んだところ、回を重ねるごとに意欲的に取り組む利用者が増えた。

職員は配置基準を満たしているものの、標榜する支援員数に達していない状況であったが、保護者の協力や職種間の連携により、安全な支援と利用者の健康を維持することができた。

また、7月に起きた神奈川県障害者支援施設での殺傷事件を受けて、防犯カメラの設置や防犯訓練の実施により、職員の意識の向上を図るなど防犯対策の強化を行った。

利用者数は、前年度の1月に高齢者施設に移行した男性利用者に替わり、4月より男性利用者の入所があったが、年間通しての総利用者数、利用率、利用延べ日数は長期入院等があったことにより、わずかに減少した。

利用料収入は、障害の重度化により障害支援区分が高くなった者が複数あったことなどにより、昨年度より4,369,053円が増加し、率では2.2%の増収であった。

③短期入所・④日中一時支援

短期入所は、家庭の事情による急な受入れもあったが、江南市基幹相談支援センターや他の相談支援事業者との連携により、円滑なサービスを提供することができた。日中一時支援は、休日や平日の他の通所系事業所での活動後からの一時的な受入れ等により、必要な支援を行うことができた。

短期入所の利用率は減少し、日中一時支援の利用率は増加した。合わせた額で昨年度より175,767円が減少し、率では2.8%の減収であった。

(2) 特定相談支援事業

計画相談支援では、家庭環境の変化により在宅生活を継続することが困難となった利用者に対して、短期入所の利用や入所施設への移行を支援する等、家庭環境の変化に合わせたサービスへ結び付けた。また、働きたいという利用者のニーズに対しては、就労系サービスの移行に結び付けることで、生活の質の向上につなげた。

また、モニタリングや担当者会議の開催を通して、サービスの進捗状況の

確認や新たなニーズの掘り下げ、課題を共有して検討したことで、利用者や家族のニーズが反映されたサービス等利用計画の立案につなげた。

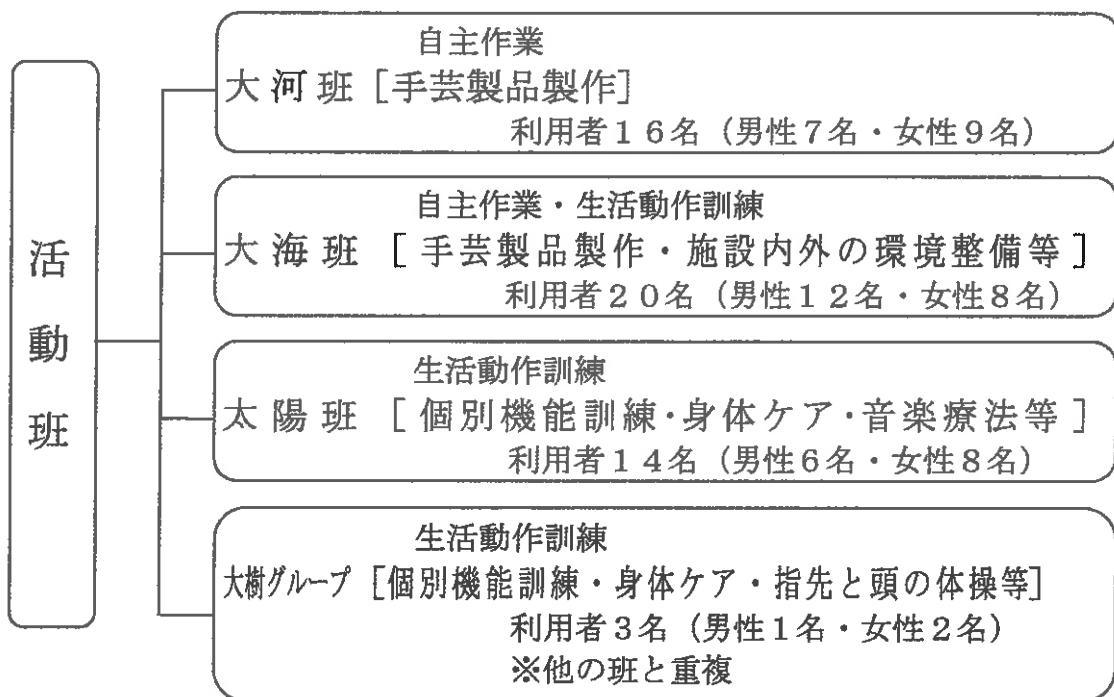
基本相談支援では、個々の状態に合った車椅子や介護用ベッドの補助申請について必要な情報を提供し購入に結び付ける等、利用者やその家族が社会生活を営むうえでの助言や情報提供を行った。

今年度は、市外の福祉サービス事業所への移行等に伴い、特定相談支援事業所の引き継ぎを行ったことで契約者は113名と、昨年と比較し2名減少し、報酬は35,572円、率では1.1%の減収であった。

事業内容

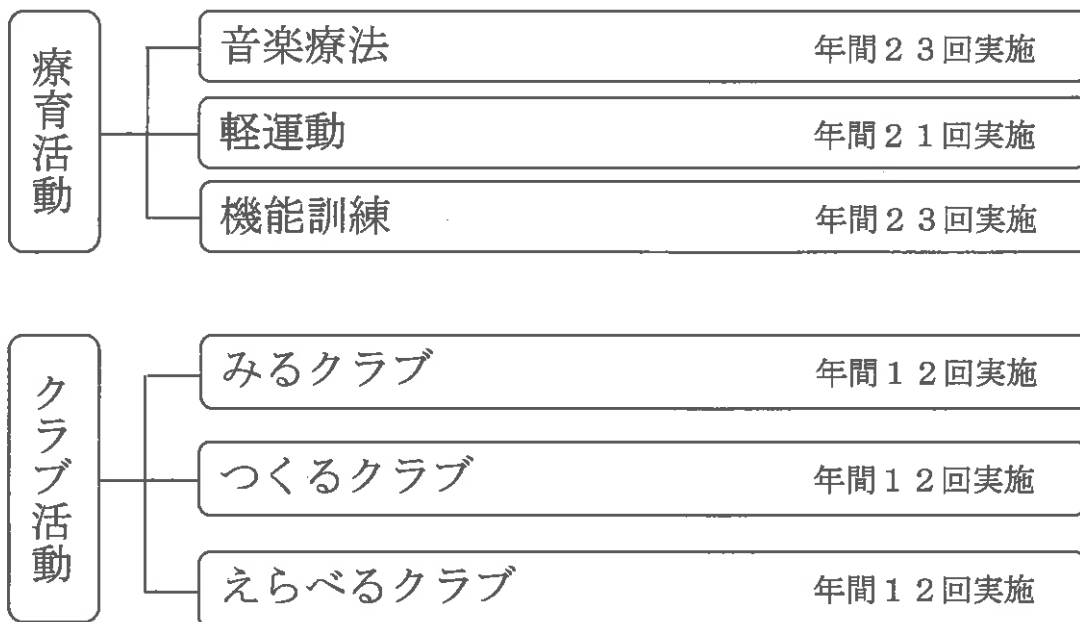
1 生産活動

利用者の作業能力に応じた様々な生産活動を通して、身体機能や生活能力の向上を図る。



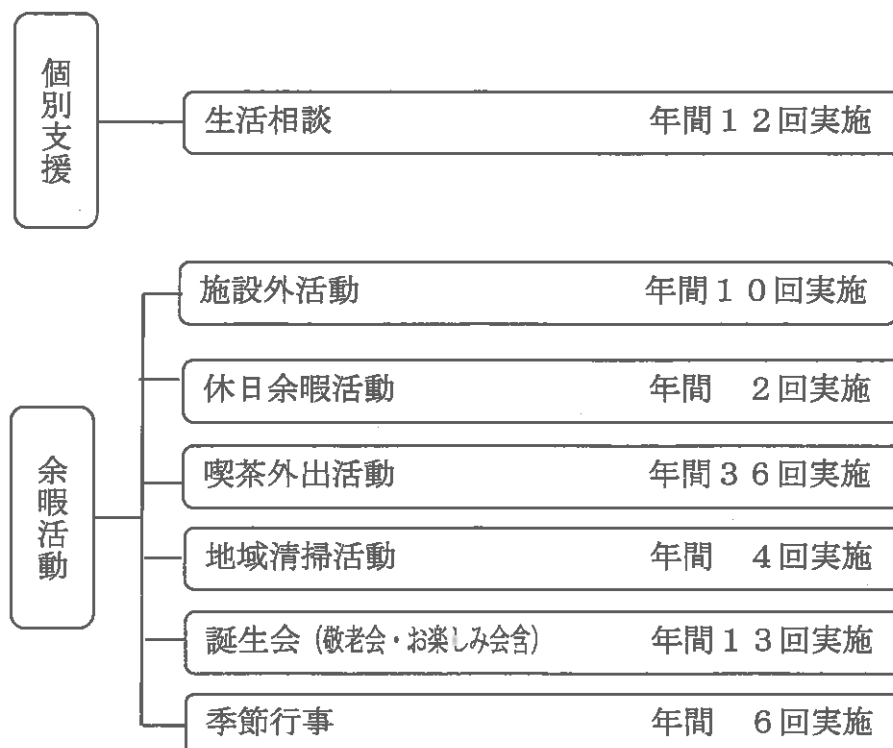
2 創作的活動

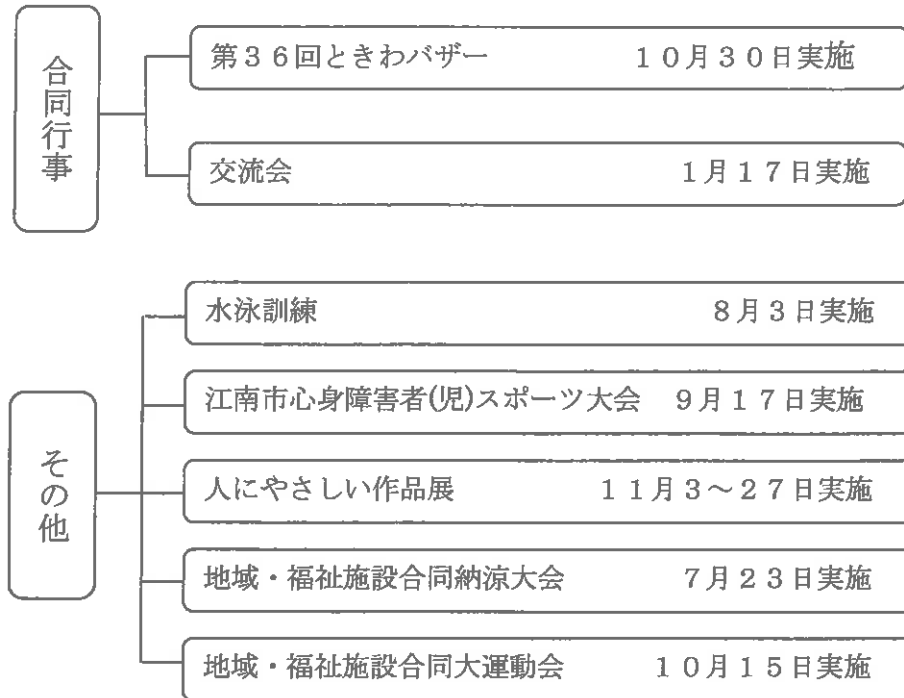
音楽やスポーツ、書道やDVD鑑賞等の創作的活動を通して、興味や趣味を持ち、施設生活の向上を図る。



3 その他の活動

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、施設生活の充実と地域への積極的な参加を図る。





4 医務

囑託の藤原医師による毎月の内科回診を通して定期的な診察を行った。簡単な検査（血液）は回診で済ませその結果と所見をファックス頂くことにより、通院業務を簡便化することができた。

健康診断の結果は緊急度のあるものは保護者連絡後、診察・精密検査を速やかに行い継続した診療を受けた。その他の結果も医師所見に対応して医療や再検査を受け保護者にも利用者の健康に関心を持っていただくことにつながった。

昨年同様インフルエンザ予防接種を3日間設け、ふじの木園利用者のほか法人職員全体へも対応した。

リハビリ通院や機能訓練をとおして個別・集団指導を受け、個人の日常生活に合わせた指導を受けることができた。また、個別の指導内容を日中の活動時間に組み合わせたことにより体の動きや機能の維持に効果がみられた。

【入院】

精神的な面での入院2名

高齢による入院2名3件（白内障、骨折・機能訓練、頸椎症性脊髄症）

【通院】

保護者の高齢化に伴い遠距離通院が難しくなり近医への転院希望への対応として今年から池田医院（神経内科）との連携を開始した。

てんかん疾患利用者の主治医を池田医師にお願いし、4名の転院を行い診察処方の方安定化つなげた。

【回診・その他の取り組み】

- ・内科回診 12回 藤原誠治医師（藤原医院院長）
- ・歯科健診 7月14日 尾北歯科医師会
- ・利用者・パート職員健康診断 7月27日 名古屋公衆医学研究所

- ・ 支援員（夜勤者）健康診断 10月11日 藤原医師
- ・ 利用者・職員インフルエンザ予防接種 [3回に分けて実施]
11/8、11/15、11/22 藤原医師
- ・ 手洗い講習 11月21日 魚国総本社
- ・ 利用者健康診断 1月10日 藤原医師
- ・ 常勤職員健康診断 2月 江南厚生病院
- ・ 職員救急講習会 2月27日 江南消防署

5 給食

高齢化に伴い、咀嚼や嚥下の難しい利用者に対応するため、食材の刻みの大きさの見直しを行った。(刻み3cm → 刻み2cm)

賞味期限の短い非常食の見直しを行った。また、非常食の入れ替えのため給食で使用する際に利用者へ災害時の食事についてと毎日の給食のありがたさについて説明を行った。

昼食時に手洗いの音楽を流し手洗いを行ったことで、意識が高まった。

[主な取り組み]

- ・ 行事食 その都度（2月恵方巻き、3月三色ちらし寿司等）
- ・ セレクトメニュー 毎月1回（親子丼又は中華飯の選択等）
- ・ 誕生者リクエストメニュー 誕生日（誕生者が希望した一品）
- ・ 料理長のいちおしメニュー 月1回（豚丼・ソイシチュー等）

[給食委託業者]

- ・ 魚国総本社

6 地域移行への支援

施設の入所者であっても、施設生活から地域生活への移行を目標に長期的な取り組みとして、「外出して～をしたい」、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勘案した地域社会との関わりや地域資源の活用、そして体力、健康維持を目標とした支援を行なうことができた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

平成28年度 緊急対応 0件

8 中期計画の平成28年度の取り組みについて

(1) 指定障害者支援施設

①利用者サービスの向上について

ア 利用者の年金等、金銭管理の整備

保護者の高齢化に伴い、施設による金銭管理に向けた規程等の整備を進めて

きたが、全利用者を対象とするには職員体制が整っていないこと、後見人制度等による金銭管理を検討する保護者も増えているため、施設による金銭管理の開始は見合わせていくこととした。

イ 個々の個性を尊重した支援

衣服や理美容等の個人嗜好に対する情報提供等の活用の研究を行い、10月支援員会議で検討を実施した結果、ファッション雑誌を見てもらうよりは身近の職員が私服を着て、接した方が利用者はイメージがわかりやすいと思われるため、今後は外出以外の園内での行事の際に職員も私服での参加をしたら良いのではないかと意見が出て取り入れていく方向とした。

食事についてのバイキング形式（選択制メニュー）の研究を行い、6月29日(水)にお楽しみ会のイベントとして選択制メニューを取り入れた食事会を行った。利用者の意見を多く取り入れたことで、普段残食の多い方も全量摂取できる方が多かった。

②設備等ハード面の充実について

ア 生活環境向上への取り組み

利用者の高齢化、障害の重度化に伴う手すり等介護設備の調査研究を行い、就寝中の対応として離床センサー4台、呼び出しコール2台を整備した。それにより、夜間の転倒の防止や夜尿の訴えに早急に対応できるようになった。また、入浴介助について見直しの検討を行い、次年度の日課に取り入れていく方向とした。

③その他

ア 地域貢献

地域清掃活動を開始し、施設周辺の清掃を4、5、6、10月の第3火曜の午後に実施した。9月は台風の為中止。回を重ねるごとに意欲的に取り組む利用者が増えた。

社会福祉士取得希望者の実習受入れの開始と介護福祉士実習指導者の養成は、社会福祉士の実習受け入れは予定者の進路変更のため中止となった。

介護福祉士実習指導者養成は定員超過のため、29年度に受講に変更となった。

イ 緊急時の対応

江南市の福祉避難所として自法人利用者以外の障害者の受け入れへの体制づくりの調査研究の一環として、非常災害対策計画について、災害時における組織体制の整理や、関係機関との連絡体制の点検を行った。

ウ 障害者緊急一時保護事業の開始

江南市より依頼を受けた際は、虐待等により心身に急迫した危険のある障害者の短期入所や日中一時支援等による一時的な受け入れの開始をした。

平成28年度受け入れ 0件

エ 防犯対策

相模原で起きた障害者施設での殺傷事件以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施 11月11日 江南警察署
- ・来園者受付簿の実施

- ・防犯カメラ・記録システム、ガラスセンサーの設置
- ・窓改修、玄関錠取替
- ・防犯フィルムの張り付け

(2) 指定特定相談支援事業所

ア サービス等利用計画の質の向上

サービス担当者会議の開催やモニタリングの聴き取りの方法について、他の相談支援事業所の方法を参考に見直しマニュアルを整備した。

サービス担当者会議は、事業所の職員や保護者等の関係者を、定期開催以外にも必要に応じて招集し開催したことで、サービス等利用計画の内容周知や課題解決につなげた。

モニタリングは、関係する事業所の職員や保護者等からの聴き取りを、面談形式での聴き取り方法に加え、様式を整備し、書面にてサービスの進捗状況の確認や意見を求め、利用者や家族の新たなニーズ等の把握につなげた。

イ サービス情報の充実

江南市の相談支援専門員研修において作成している市内事業所の一覧については、最終の取りまとめの段階まで進んでいる。また、近隣市町の福祉マップを取り寄せたり、関係事業所からの情報収集や、基幹相談支援センターからの情報提供等を受けたことで、利用者や家族のニーズや相談に対して的確な情報の提供やサービスへ結びけることができた。

ウ 対象者の拡大

保護者の体調不良等に伴う生活環境の変化への対応や、別法人のサービス事業所への移行など複雑で多岐に渡る相談に適切に支援するため相談支援の業務内容を見直し業務マニュアルの整備を行った。

また、相談支援専門員1.5人の業務体制の中で、兼務状況を見ながらケースを担当する利用者の調整を図った。

来年度に向けては、サービス提供の範囲等を基幹相談支援センターと調整を図り事業と運営の安定に繋げ、対象者の拡大についても引き続き検討を行っていくこととした。

生産活動報告

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

クッション、エコバッグを中心に分担された作業内容を各利用者がしっかりと行えた。また、作業の合間に適宜散歩を行い、気分転換を図ることもできた。

くるみボタンゴム、くるみボタンピンは子どもフェスティバルバザー等、バザー来場者の世代等に合わせて必要時のみ製作を行った。

その他、新製品の試作としてトートバックの製作、販売を行ったところ、評判も良く好評で売れ行きも良かった為、製品化していくことができた。

2 大海班

[手芸製品製作]自主作業

ビーズマスコットと、ミサンガの製作は、編み込みなど技術を要する工程は、練習を重ね、上達した利用者で行い、残りの部分を他のメンバーで分担し、製作することができた。

肩叩き棒製作は在庫過多で製作数を制限したことが多かった。

[生活動作訓練]施設内外の環境整備

利用者の重度化、高齢化のため、機能訓練や生活動作訓練中心の活動を増やしてきた。

通常の洗濯室や乾燥機の清掃に加え、施設の中庭や施設周辺の清掃活動にも取り組み、環境美化にも努めた。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法

午前中はペグボードや型はめ、豆移し等の生活動作訓練と階段の昇降や園内散歩、天候の良い日は中庭で、日光浴やボール運動等、太陽の光を浴びて運動することを主に取り組んだ。また、曜日毎に少人数の利用者に職員が付添い、個別支援計画に基づいた活動に集中して取り組んだ。

午前に体を動かす等の身体ケアを行い、午後からは口腔ケアを行い、健康維持につなげることができた。

4 大樹グループ

[生活動作訓練]個別機能訓練、身体ケア、指先と頭の体操

通院対応等により支援体制が整わず中止する日もあったが、実施の回数の増加に努め、月に3～7回の活動を行うことができた。

活動内容は利用者各自が関心のある内容（ぬりえ、立体パズル、絵本読み等）を行い、職員が補助をしながら楽しみながら集中して行うことができた。

また、新たな取り組みとして、指先の生活動作訓練として新しくペグボード訓練や、機能訓練で指導を受けた個別プログラムを取り入れ、歩行訓練や棒体操等を行なうことができた。

また好きな音楽を流し、落ち着いた環境の中で活動を取り組むことができた。

浮腫軽減のためにフットバスを使用した足浴を行い、健康面にも留意した内容を取り入れた。

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

4月の「よろしくね会」では、『それが大事』の曲で全員参加型の明るく、楽しく、元気のいい日頃の音楽療法の姿を披露することができ、1月の「交流会」では『糸』の合唱とハンドベル演奏の発表を行った。音楽療法の活動時はもちろん、余暇や休憩時間にも練習に取り組み、どきどきしながらも発表という目標に向けて努力することができた。また、普段の活動では、季節や行事に応じた合唱、花や食べ物を連想するレクリエーション、曲に合わせたストレッチなどで時間を忘れるほど楽しく参加することができた。

年間23回実施

〔行事での発表曲〕

4月 これからもよろしくね会

「それが大事」合唱、マラカス、サウンドシェイプ等

「365日の紙飛行機」合唱

1月 交流会

「糸」合唱、ハンドベル

②軽運動

レクリエーションでは、大きなピンを使用したボーリング、中庭でのフライングディスク、的当てふくろう、サッカーゴールを使用したボールの的入れ、輪投げ、ミニボーリング等に取り組んだ。また新しくピンポンカップゲーム（段ボールで細かく仕切った箱に、新聞紙のボールを投げて得点を競う）を行った。

これまで使用していた道具にキャラクターをつけたり、新しいレクリエーションも行ない、前年とは違った内容で取り組むことができた。キャラクターをつけたことで、利用者の方の的を狙い易くなり、楽しく取り組むことができた。

活動中は音楽をかけながら行ない、楽しい雰囲気で行なうことができた。

第17回愛知県ボッチャ競技大会には6名（3名ずつの2チーム）が参加し、日頃の練習の成果を発揮し、全員が金メダルを獲得することができた。

知的障がい者理解促進軽スポーツ教室には6名が参加し、江南市立北部中学校で中学生との合同チームで試合を行いました。ボールを手渡ししたり、ルールの説明をするなどボッチャを通じて中学生と触れ合うことができた。

年間21回実施

〔大会結果〕

第17回愛知県ボッチャ競技大会

ふじの木A・Bの2チーム参加（6名）金メダル2

〔知的障がい者理解促進軽スポーツ教室〕

北部中学校

③機能訓練

作業、理学療法士の講師のもとでグループ運動と個別ADL指導を行った。

グループ運動では発語訓練や棒体操セラバンドを使用した運動プログラムを行った。月2回の活動内容に慣れ、訓練を楽しみながらも、集中して取り組める利用者が多くなった。

参加者一人一人のADL（生活動作）に対する個別ADL指導では、歩行や肩・膝痛改善等、個別の課題に対して、日頃から行うことのできる運動やストレッチ等を教えることができ、日常生活の中で実践したことで、関節可動域が改善し、筋力向上が数値として現れる利用者もあり、歩行の安定等につながった。

また、機能訓練参加利用者に限らず、必要に応じて入所利用者の身体機能に関して講師へ相談をし、助言を受けることもできたため、日常の支援に役立てることができた。

年度途中から参加利用者が2名増え、計18名となった。

年間23回実施

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練（首や口の動き・発声練習）
- ・準備運動（上下肢・肩関節・股関節の運動等）
- ・筋力トレーニング（棒を使った運動、セラバンドを使用した運動等）

[主な個別ADL指導]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・肩関節可動域の維持向上を目的とする、上肢交互運動器を使用した運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

利用者から好評だったことから、前年度に引き続きプロジェクターを使用したDVD鑑賞を行った。DVDの内容は利用者のリクエストを聞きながら、見やすさ・楽しさを考慮した物を選んで放映した。（鑑賞したDVD作品：猫の恩返し、ファインディングニモ、スヌーピー、ズートピア、ドラえもん雲の王国等）。

鑑賞後はその作品に関係した塗り絵を行い、DVDを観賞して感じたことを思い思いの色で表現しながら塗り絵を楽しむことができた。完成した塗り絵は1F廊下に掲示することで、保護者等の来園者にも見てもらうことができた。

年間12回実施。

②つくるクラブ

月毎のカレンダー製作を中心に、季節感のある創作活動（習字、刺し子、色塗り、掲示物作成）に取り組んだ。

活動前に参加者からやりたいことについて希望を聞き、それに沿うように実施して各々の個性を出しながら作成できたことと、完成品を多くの人目を引くように展示できたことが、満足感ややりがいを持つことにつながった。

年間12回実施。

③えらべるクラブ

本年度は利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を取り入れた。活動内容は以下の通り。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4、5	ボッチャ練習とDVD鑑賞	11	クッキング
6	ダンス	12	ボッチャ大会の練習
7、8	ウッドバーニング	1、2	フラワーアレンジメント
9、10	手作り遊び	3	カラオケ

4、5月に予定していたフライングディスク練習は雨天のため、中止。

前年度同様の7、8月のウッドバーニング、1、2月のフラワーアレンジメントに加え、新たに6月ダンスや9、10月の手作り遊び、11月のクッキングも取り入れた。ウッドバーニングなどの作品は居室に飾ることや帰省時に持ち帰り、保護者の方にも喜んでいただくことができた。

自身で活動内容を選択することが困難な利用者については気候の良い時期に公園散歩を行い、戸外を散歩することで気分転換を図り、木々や草花の様子から季節を感じることができた。

年間12回実施。

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

毎月開催することができ、相談者の困っていることや聞いて欲しいことを表情や言葉で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、相談した利用者自身もゆっくりと話を聞く時間を設けたことで安心感と満足感を得ることができ、その後の安定した生活につなげることができた。

本人からの希望が2件、課題解決の為の話し合い等6件、気分転換や機能訓練等のリフレッシュ4件であった。

年間12回実施（利用14人）

【主な相談内容】 ・友達との関わりについて
・希望する取り組み(作業、余暇活動)について等

2 余暇活動

①施設外活動

利用者との話し合いの中から行先や行程を計画し、ショッピングモールでの買い物や、飲食店での食事、イベントの見学等を楽しむことができた。感染症対策のため、11月～3月は混雑する総合施設等の場所を避け、カラオケや散歩を中心に行うことにより、人混みを避けた活動で感染予防に心掛けた。

年間10回実施

[主な行き先]

各務原イオン、リトルワールド、小牧市総合公園市民四季の森等

②休日余暇活動

参加利用者の希望に応じて、買い物を行ない、充実した休日を過ごすことができた。また、近隣の高齢者施設のイベントに出かけ、他施設の方々との交流を深めることもできた。

年間2回実施

[主な行き先]

サンライフ地域感謝祭見学、ガスト江南店

③喫茶外出活動

主に第2火曜を除く火曜日の午後に少人数のグループで利用者の希望する喫茶店や、ショッピングモールへ行き、憩いのひと時を楽しんだ。感染症対策の為、11月～3月の期間は複合施設等の人混みを避けた活動で感染予防に心掛けた。

年間36回実施

[主な行き先]

コメダ珈琲江南村久野店、古今堂江南店、アピタ江南西店等

④誕生会

誕生会では利用者の司会者が誕生者を一人ずつ紹介し、皆さんが集まっている会場へ入場することで一人一人が注目を浴び、お祝いする雰囲気の中で行った。プレゼントはお菓子の詰め合わせ、ブランケット、抱き枕、座布団・クッションの4種類から好きな物を各利用者を選んでもらい、仲の良い利用者から誕生者へプレゼント贈呈を行った。

敬老会では60歳を迎えた敬老者の方に表彰状を贈呈し、皆さんで長寿のお祝いをした。赤いベルトを還暦祝いにプレゼントした。

誕生会 年間12回実施（内9月は敬老会）

お楽しみ会 年間1回実施（6月：食べる会（バイキング））

⑤季節行事

・これからもよろしくね会（平成28年4月15日）

施設内で通常の保護者会を行った後、バス2台にて東急ホテルへ移動し、「これからもよろしくね会」を開催した。食事会や新規入所利用者、新規職員の挨拶を行ったり、音楽療法の発表では合唱や打楽器の演奏をすることで普段の取り組みを披露できた。園とは異なる雰囲気の中で保護者の前で発表し、利用者、保護者、職員が一堂に会し、楽しいひと時を過ごすことができた。

・七夕祭り(平成28年7月7日)

それぞれが短冊に願い事を書き、発表した後で織姫、彦星の顔だしパネルで写真の撮影を行った。写真と短冊は後日掲示した。

手作りの紙芝居を使用し、「七夕」にまつわる読み聞かせを行った。数名の利用者も紙芝居の読み聞かせを行った。紙芝居の内容からクイズを2、3問出題した。たくさんの方が積極的にクイズに参加することができた。

・クリスマス会(平成28年12月21日)

事前に利用者が飾り付けを行い、クリスマス会までの間楽しみに過ごすことができた。クリスマス会当日は、利用者みんなでクリスマスにちなんだイラストのぬり絵を行った。

プレゼントは希望の物をもらうことができた。手にした際、利用者同士で見せ合うこともあった。

・書初め大会(平成29年1月5日)

見本を見て書いたり、自分の書きたい言葉を選び楽しく取り組み、同月のクラブ活動後に全体で発表会を行い、書いた字を選んだ理由や書く時に苦労した点について、充実した表情で全体に伝えることができた。その後は地域交流スペースに掲示したことで、家族や来園者にも見てもらうことができた。

・節分祭(平成29年2月3日)

新聞紙を丸めた豆で豆まきを職員が扮した鬼へめがけて行った。「鬼のパンツ」の曲を使用することによって、より楽しい雰囲気で行い、季節を感じることができた。

・ひな祭り(平成29年3月1日)

ひなまつりの歌を皆で歌った後に、紙皿を使用したひな人形の工作を行った。顔や服の色等は各利用者に自由に描いてもらい、個性あふれるひな人形を完成させることができ、楽しい時間を過ごすことができた。

3 合同行事

①第36回ときわバザー(平成28年10月30日)

利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容の見直しをしたことで、多くの利用者が施設製品や葉牡丹の販売、職員や保護者と一緒にイベントに参加することができた。広報活動にも力を入れ事前に周知を図り、合同行事や各施設・事業所を紹介するポップをときわ会場で掲示したことで、地域の方にもたくさん参加して頂き交流を深めると共に、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園(授乳スペース設置)、ときわホーム「ニコット」、畑

②交流会(平成29年1月17日)

祝賀会では、ハンドベルの演奏や食事を通して法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南市のマスコットキャラクター「藤花ちゃん」と一緒に、写真を撮ったりふれあったりし、江南消防音楽隊の演奏時には、ステージの前で法人内の各施設・事業所の利用者と一緒に楽しく踊ることもでき、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとぴあ江南

4 その他

①水泳訓練(平成28年8月3日)

インストラクターが不在な為、担当支援員を中心に職員が水に慣れること、水中歩行、クロールで泳ぐ等を順に指導して行った。ときわ作業所と連携し、到着後の着替えから終了まで怪我なく円滑に行なうことができ、参加者は暑い夏を楽しむことができた。

開催場所 木賀コミュニティプール

②心身障害者(児)スポーツ大会(平成28年9月17日)

参加者全員が楽しく競技できるよう、事前に参加者に競技を決めて参加してもらった。参加予定者以外で競技への希望があった場合は、付き添う職員を増やすことで対応することができた。特に人気のある玉入れでは多くの利用者が同時に参加することができよかった。

前年度に続き鳴子踊りが行われた。見るだけでなく、その場で踊り方を教えてもらい、演者と一緒に踊って楽しく参加することができた。

開催場所 江南市民体育会館

③人にやさしい作品展(平成28年11月3日～27日)

全体作品は、開催時期が秋ということもあり、模造紙に大きな木を描き、利用者が手の平に絵の具を付けて版画を行ない全員で紅葉している木を作製した。一人一人が木に描く手の位置を工夫されていて個性的な木が完成した。

個人作品は、休日や余暇時間を活用して各利用者が取り組んだ紙粘土細工などの作品を男性4名、女性12名の方に出展して頂き、展示スペースが華やかであった。

親の会の展示箇所にも数名の方の作品が掲示された。

開催場所 すいとぴあ江南

④地域・福祉施設合同納涼大会(平成28年7月23日)

事前に盆踊りの練習を行い、当日までを楽しみに過ごした。当日は櫓を囲み、馴染みの曲に合わせて踊ることで、楽しい一時を過ごすことができた。

今年度より新しいアトラクションのスリラーダンス、妖怪じゃんけんが追加され、

楽しんで参加することができた。

長時間の参加が難しい利用者は2班に分かれて参加した。限られた時間内での会場と園の往復移動が慌ただしかったが、雰囲気を楽しむことができた。

開催場所 ジョイフルむつみランド

⑤地域福祉施設合同大運動会(平成28年10月15日)

玉転がしやパン食い競争等の競技を家族と共に皆で楽しみ、怪我なく参加することができた。本年度も会場テントへ背もたれ付きの椅子を持って行ったことで、保護者・利用者ともに快適に参加することや応援することができた。

また、昼食については昨年度に引き続き、会場での飲食を希望される参加者以外は、施設へ戻り飲食することで、落ち着いて休憩をとることができた。

開催場所 ジョイフルむつみランド

平成28年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4. 15	これからもよろしくね会 (東急ホテル)	4. 21 ～5. 5	藤まつり (偶数日参加)
5. 21	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	5. 22	こどもフェスティバル
6. 29	お楽しみ会		
7. 7	七夕まつり		
7. 14	歯科健診		
7. 23	地域・福祉施設合同納涼大会		
7. 26	あゆみエンジョイ Summer		
7. 27	健康診断 (移動検診車)		
8. 3	水泳訓練 (木賀プール)		
9. 17	心身障害者 (児) スポーツ大会 (江南市民体育会館)	9. 29 10. 9	古知野高校文化祭 江南ふれあいまつり
10. 15	地域・福祉施設合同大運動会		
10. 30	第36回ときわバザー		
11. 3 ～27	人にやさしい作品展		
11. 8	インフルエンザ予防接種①		
11. 15	インフルエンザ予防接種②		
11. 22	インフルエンザ予防接種③		
12. 17	愛知県ボッチャ競技大会 (名東スポーツセンター)		
12. 21	クリスマス会		
1. 4	新年会		
1. 5	書初め大会		
1. 10	健康診断		
1. 17	交流会 (すいとびあ江南)		
2. 3	節分まつり	2. 21 ～ 26	猫づくし展
3. 2	ボッチャふじの木杯		
3. 3	ひなまつり		

その他	施設実習等
誕生会(敬老会含) 年間12回実施 クラブ活動 年間12回実施 保護者会 年間11回実施 避難訓練 年間12回実施 体重測定 年間4回実施 血圧測定 年間4回実施 施設外活動 年間10回実施 休日余暇活動 年間2回実施 喫茶外出活動 年間36回実施 音楽療法 年間23回実施 軽運動 年間21回実施 機能訓練 年間23回実施 生活相談 年間12回実施	(介護実習) 愛知県立古知野高校 8名 8月1日～8月4日 8月22日～8月25日 (知的障がい者理解促進軽スポーツ教室) 江南市立北部中学校 5月16日 (職員研修) 江南市新規採用職員研修 5月24日

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

平成29年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	16人	22人	38人	0人	29人	7人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	25	25	50	2	34	12	2

2 障害支援区分別

平成29年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	1人	7人	2人	14人	25人
女	0	1	3	7	5	9	25
合計	0	2	4	14	7	23	50

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	3人	14人	4人	4人	25人	47.9歳
女	0	0	1	6	10	3	5	25	47.5
合計	0	0	1	9	24	7	9	50	47.7

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,045人	1,061人	1,053人	1,086人	1,044人	1,020人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	47.5人	46.1人	47.9人	47.2人	45.4人	46.4人
契約人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
利用率	95.0%	92.3%	95.7%	94.4%	90.8%	92.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,050人	1,010人	1,025人	1,012人	922人	1,062人	12,390人	1,033人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	20日	23日	269日	22日
1日当たり 平均利用人数	45.7人	45.9人	44.6人	44.0人	46.1人	46.2人		46.1人
契約人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人	600人	50.0人
利用率	91.3%	91.8%	89.1%	88.0%	92.2%	92.3%		92.1%

利用率 定員 50人に対し、1日平均利用人数46.1人 利用率92.1% 年間延べ12,390人が利用
年間稼働日数 269日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,272人	1,285人	1,300人	1,321人	1,274人	1,255人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	42.4人	41.5人	43.3人	42.6人	41.1人	41.8人
契約人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
利用率	84.8%	82.9%	86.7%	85.2%	82.2%	83.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,275人	1,260人	1,255人	1,211人	1,192人	1,317人	15,217人	1,268人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30日
1日当たり 平均利用人数	41.1人	42.0人	40.5人	39.1人	42.6人	42.5人		41.7人
契約人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人	600人	50.0人
利用率	82.3%	84.0%	81.0%	78.1%	85.1%	85.0%		83.4%

利用率 定員 50人に対し、1日平均利用人数41.7人 利用率83.4% 年間延べ15,217人が利用
年間稼働日数 365日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
28年度	119,282,221円	55,974,285円	5,872,050円	20,390,948円	201,519,504円
27年度	116,263,893円	54,324,978円	6,023,041円	20,538,539円	197,150,451円
差引	3,153,436円	1,651,347円	-150,559円	-147,591円	4,369,053円
前年比	102.6%	103.0%	97.5%	99.3%	102.2%

(2) 短期入所・日中一時支援

	短期入所	日中一時支援	合計
28年度	4,346,101円	1,761,901円	6,108,002円
27年度	4,802,167円	1,481,602円	6,283,769円
差引	-456,066円	280,299円	-175,767円
前年比	90.5%	118.9%	97.2%

(3) 特定相談支援事業

	金額
28年度	3,090,186円
27年度	3,125,758円
差引	-35,572円
前年比	98.9%

施設本体は昨年度より4,369,053円が増加し、率では2.2%の増収であった。

短期入所の利用率は減少し、日中一時支援の利用率は増加した。合わせた額で昨年度より175,767円、率では2.8%の減収であった。

特定相談は契約者の減少に伴い、サービス等利用計画の立案件数も減少し、昨年度より35,572円、率では1.1%の減収であった。

6 日常生活動作能力別

平成29年3月31日現在

区分	性別	性別		合計
		男	女	
		25人	25人	49人
食事	全介助	2	3	5
	一部介助	9	7	16
	自立(見守り・声かけ)	14	15	28
排泄	全介助	5	5	10
	一部介助	7	8	15
	自立(見守り・声かけ)	13	12	24
着脱	全介助	4	5	8
	一部介助	4	5	10
	自立(見守り・声かけ)	17	15	31
洗面	全介助	10	9	19
	一部介助	6	7	9
	自立(見守り・声かけ)	9	9	21
入浴	全介助	9	8	17
	一部介助	6	11	16
	自立(見守り・声かけ)	10	6	16
歯磨き	全介助	10	9	19
	一部介助	4	10	13
	自立(見守り・声かけ)	11	6	17
生理	全介助	0	9	9
	一部介助	0	6	6
	自立(見守り・声かけ)	0	9	9

7 入院状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	1人	1人	2人	〔その他の診療科の主な入院内容〕 頰椎症性脊髄症、頰椎変性すべり症の為頰椎後方固定手術 白内障手術 左大腿骨頸部骨折手術 リハビリ目的
女	1	3	4	
合計	2	4	6	

8 通院状況別

平成28年4月1日～平成29年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	117人	8人	115人	59人	34人	64人	11人	7人	3人	0人		418人
女	220	2	46	68	108	189	31	0	0	13	9人	686
合計	337	10	161	127	142	253	42	7	3	13	9	1,104

(把握分)

9 服薬状況

平成29年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	20人	5人	25人
女	21	4	25
合計	41	9	50

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

平成29年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	15人	5人	20人
女	13	8	21
合計	28	13	41

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

平成28年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,786	71.2	41.2	523	9.9	652	0.95	0.99	106
ふじの木 園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況(契約者数87名の内、32名の利用・延べ利用日数528日)

1 契約状況(市町村別)

平成29年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	39人	19人	58人
一宮市	4	3	7
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	0	2	2
名古屋市	0	1	1
大口町	4	4	8
扶桑町	1	7	8
合計	50	37	87

2 障害支援区分

平成29年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	0人	1人	1人
区分2	2	6	8
区分3	15	8	23
区分4	24	13	37
区分5	3	8	11
区分6	6	1	7
合計	50	37	87

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1人	10人	24人	8人	5人	2人	50人	37.1歳
女	0	10	13	13	0	1	37	36.0
合計	1	20	37	21	5	3	87	36.6

日中一時支援事業の状況(契約者数76名の内、29名の利用・延べ利用日数338日)

1 契約状況(市町村別)

平成29年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	38 人	18 人	56 人
一宮市	5	3	8
岩倉市	0	1	1
犬山市	0	1	1
扶桑町	1	6	7
大口町	3	0	3
合計	47	29	76

2 障害支援区分

平成29年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	0 人	1 人	1 人
区分2	1	4	5
区分3	8	6	14
区分4	25	10	35
区分5	5	7	12
区分6	8	1	9
合計	47	29	76

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	2 人	14 人	21 人	5 人	4 人	1 人	47 人	34.8 歳
女	0	10	11	8	0	0	29	33.7
合計	2	24	32	12	4	1	76	34.3

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別）

平成29年3月31日現在

市町村名	性別		合計	契約者の状況			
	男	女		障害者 支援施設 利用者	通所事業所 在宅者	グループホーム 利用者	在宅者
江南市	54人	45人	99人	38人	54人	5人	2人
一宮市	3	2	5	3	1	1	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	63	50	113	50	55	6	2

2 障害支援区分別

平成29年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	3人	5人	26人	10人	19人	63人
女	0	1	11	13	15	10	50
合計	0	4	16	39	25	29	113

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	4人	24人	23人	6人	2人	3人	63人	41.2歳
女	0	0	8	12	18	6	0	6	50	42.5
合計	0	1	12	36	41	12	2	9	113	41.8

4 月別支援状況

(1) サービス等利用計画書

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画 作成件数	10件	8件	8件	7件	8件	11件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画 作成件数	9件	7件	10件	13件	14件	7件	112件	9.3件

(2) モニタリング報告書

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告 作成件数	9件	10件	10件	9件	6件	4件

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告 作成件数	7件	7件	4件	10件	10件	8件	94件	7.8件

平成28年度 ときわ作業所 事業報告書(案)

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業所（生活介護事業）
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬69番地
 事業内容と定員 生活介護 55名（現員52名）
 日中一時支援 5名（随時）
 対象者 障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）である者
 職員等 [職員] ・正規6名・契約7名・パート10名 計23名
 [他] ・嘱託医（精神科）1名
 ・講師（音楽療法・ストレッチ）3名 計4名

職員 (人)

	施設長	サービス管理責任者	事務員	支援員	
				主任	支援員
男	1	1		1	2 (4)
女			1		7 (5)
合計	1	1	1	10	(9)

	看護師	合計
男		5 (4)
女	(1)	8 (6)
合計	(1)	13 (10)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

(1) 生活介護

日中帯における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行ってきた。

生産活動では、多くの利用者が携わることのできるPPバンドの作業を取り入れ、個々の適正に合わせた工程に取り組むことでやりがいや責任感を養うことができた。また、印刷やボカシ、手芸品等の自主作業は、受注量の変動があり増減がみられたが、製品の種類を増やすことでニーズへ対応することができた。

創作的活動や余暇活動等に利用者が自発的に参加し役割を持って活動できるよう、外部講師を招いたストレッチや事業所内の運動会である「なかよし会」を実施し、社会見学では、公共交通機関を利用する機会を設けることができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた提供ができた。衛生面についても、厨房床の塗装工事を行い、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

ときわホームのバックアップは、連携を図りながら、利用者の体調面及び精神面の把握に努めた。

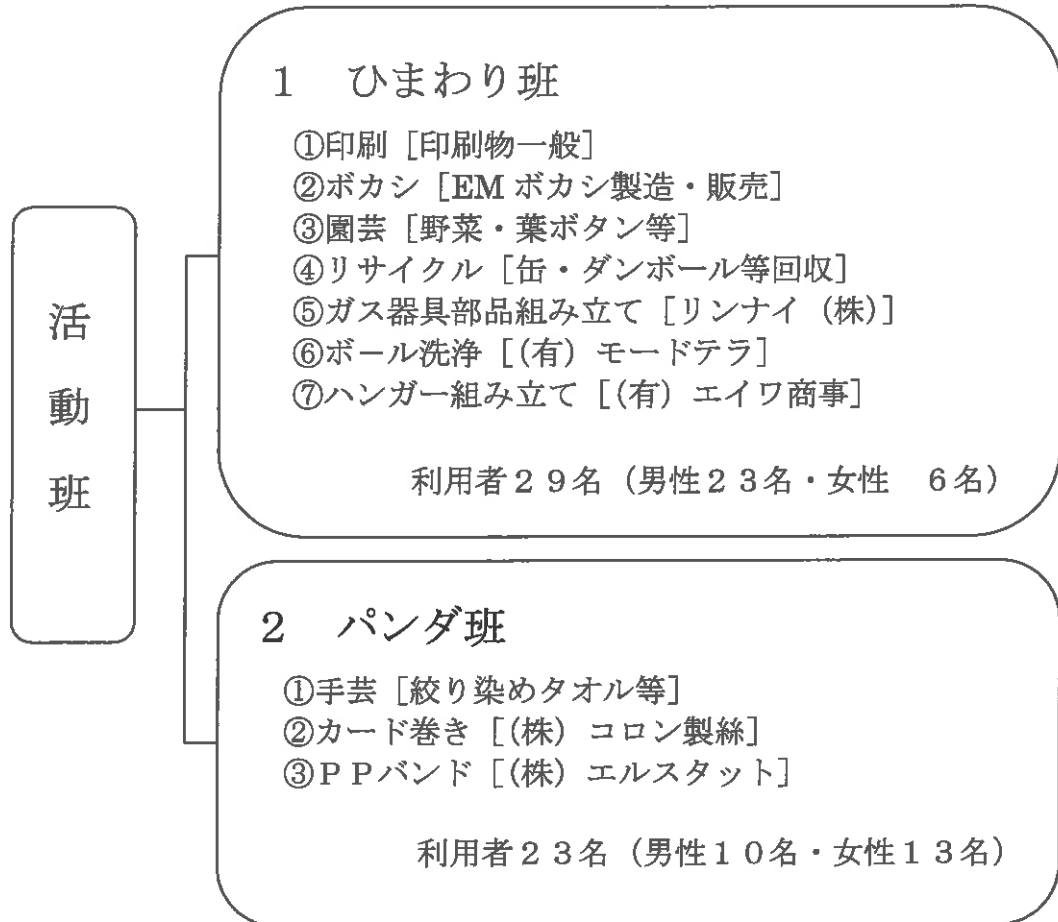
事業所の稼働日数は254日、平均利用人数は47.4人で利用率は91.2%であった。特別支援学校卒業生や他事業所より新規利用者が4月に2名と3月に1名あり、他事業所への移行に伴う退所者が年度途中で2名あった。事業所の利用料収入は、障害支援区分の変更で支援度が高くなったこともあり、額で昨年度より、6,053,105円、率では6.7%の増収となった。

(2) 日中一時支援

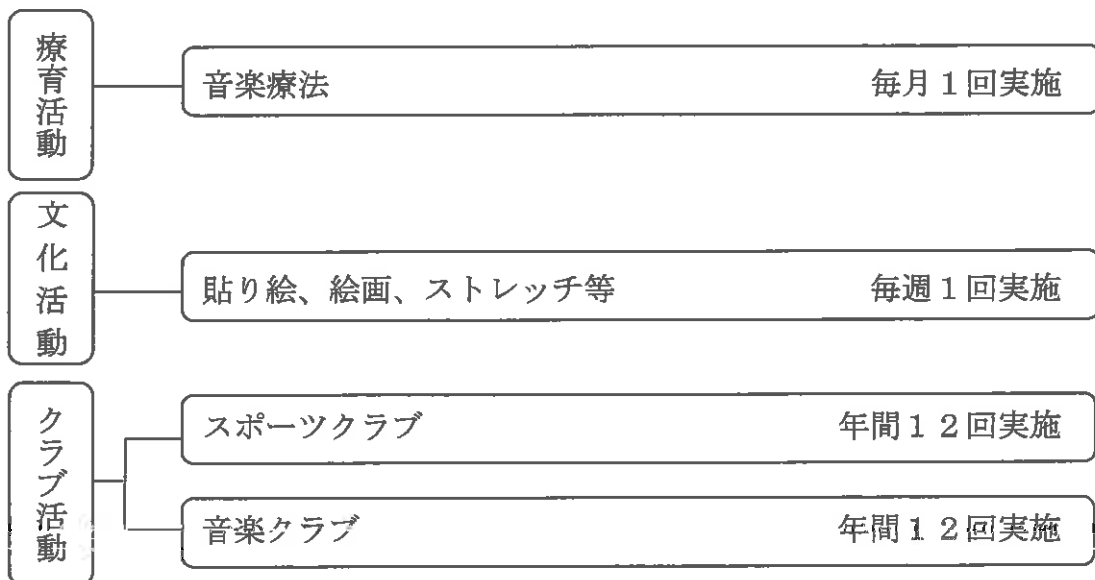
一宮東特別支援学校の生徒を夏休み期間の事業所利用として、7月から8月に受け入れをした。日中一時支援の利用希望者の減少に伴い、受け入れ日数が大幅に減少し、額で昨年度より130,602円、率では70.2%の減収となった。

事業内容

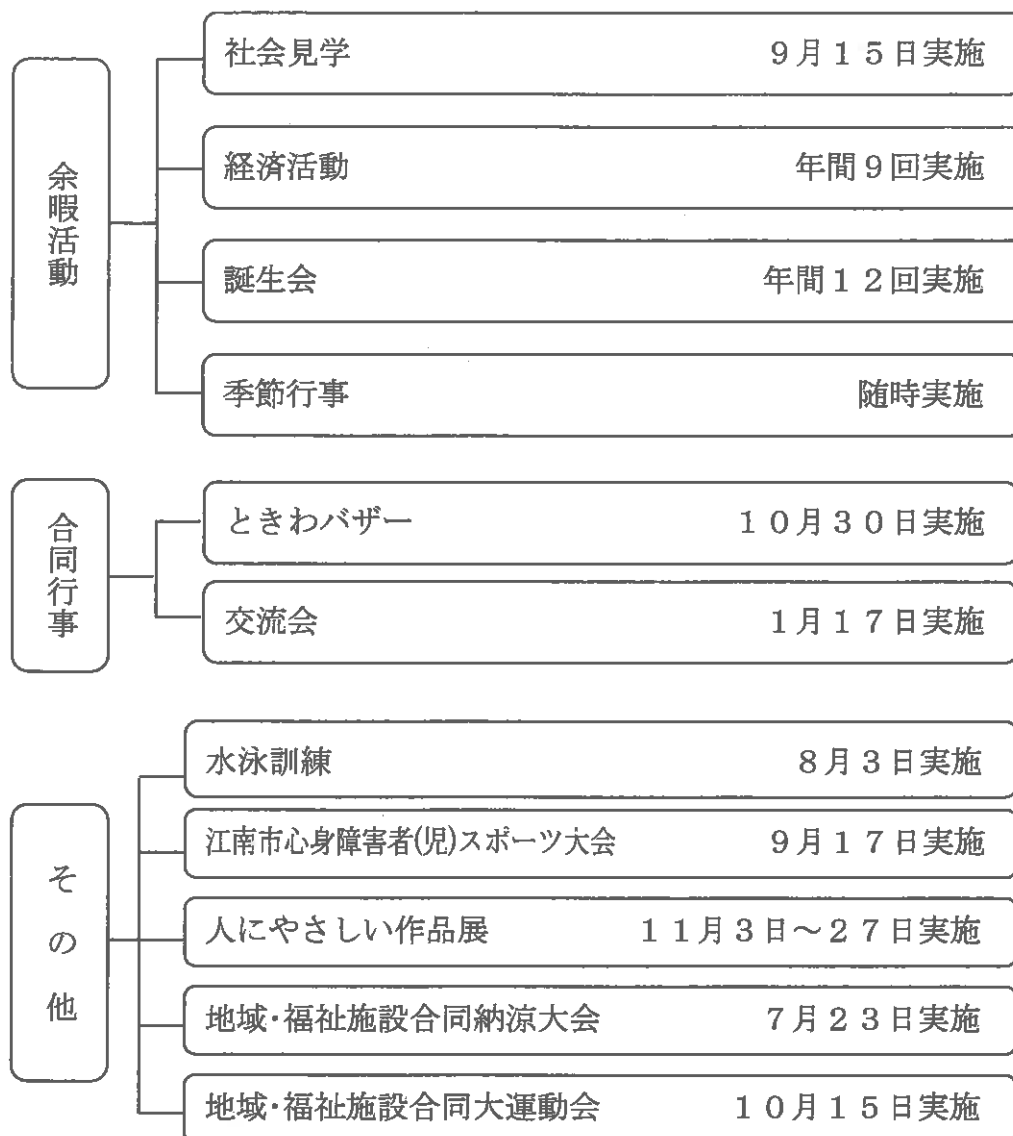
1 生産活動



2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)



3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)



4 健康支援

健康調査表、健康診断の結果、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。また、歯科衛生士による「健康教育」、「歯磨き指導」を継続し行ったことにより、歯磨き習慣がついてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進に繋げることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面では、厨房床の塗装工事を行い、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況について朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にも繋げることができた。

7 中期計画の平成28年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

ア 班活動、日課の見直し

現在まで培ってきた生産活動中心の日課という特徴も残すため、多くの利用者が携わることのできるPPバンド作業を取り入れた。創作的活動や余暇活動では、外部講師を招いたストレッチを隔月で取り入れたり社会見学で公共交通機関を利用する機会を設けたりすることで充実した活動の提供に繋がった。

イ 工賃の見直し

収支バランスの改善のための減算支給を開始して5年が経過し、改善が図られてきたため、平成29年度については現在の基準で工賃支給を実施できること、客観性のある自主性、生産性を考慮した分かりやすい工賃基準の確立が必要となることの確認ができた。

ウ 送迎サービスの見直し

利用者の送迎時の保護者付き添いの負担軽減や、電車、バス等の公共交通機関や有償送迎を利用し通所している利用者に対して、送迎サービスを実施した。利用者の通所意欲の向上や保護者の送迎負担の軽減に繋がっているが、対象者の中に、送迎サービスの利用ができていない利用者がみえるため、通所に対する意識づけができるよう送迎利用の促しを継続して行った。

また、送迎サービスの一環として、保護者による送迎困難時の送迎サービス利用に向け「保護者送迎困難時留意事項」を定めた。

(2) 設備等ハード面の充実について

ア 事業所の整備

利用者の障害の重度化、高齢化に対応するため、事業所の東側の出入り口に庇を設置したことで、送迎や利用者の移動がスムーズに行えるようになった。また、1階作業室の蛍光灯LED化等を実施し、事業所の環境整備を図った。

生産活動報告

1 ひまわり班

①印刷 [印刷物一般]

名刺印刷は、江南市の指定台紙すべての種類に対応したことで、お客様のニーズに応えることができ、昨年以上の注文を受けることができた。オフセット印刷については、昨年度と同等の注文を受けることができた。

印刷した名刺に市章プレスを押す作業や納品業務は利用者が携わり、製品に仕上がっていく過程を知ることができ、喜びを感じてもらおうと共に仕事に対する責任感も養うことができた。

②ボカシ [EMボカシ製造、販売]

製品になるまでの工程に多くの利用者が携われるよう、工程毎に分担し取り組むことで責任感を養うことができた。納品業務は毎週2回行い、販売店を定期的に訪問することで売り上げ数や商品の状態を把握し品質を一定に保つことができた。納品先の職員の方や地域の方にも顔を覚え、励ましの言葉をいただき利用者の意欲向上に繋げることができた。

③園芸 [野菜・葉ボタン等]

利用者の帰宅時の野菜販売は、保護者の方にも好評であった。畑の水やりや草取りの手入れは、利用者も携わることで、野菜の育ち具合を利用者も確認することができ収穫量も少しではあるが増加に繋がった。いも掘りについては、皆で協力して育ててきたという充実した笑顔が多くみられ協調性、責任感を養うことができた。

④リサイクル [アルミ缶・新聞・ダンボール等回収等]

ダンボール等の回収業務は、事業所内で整理整頓し、こまめに納品をすることで急な回収依頼にも対応することができた。他の作業の流れも考慮しながら、できるだけ多くの利用者が回収業務に参加できるように1週間ごとにスケジュールを立て取り組んだ。また、アルミ缶の分別の作業やダンボールの積み下ろし作業については、利用者が重い物を一緒に運ぶ姿も見られ、協力して作業を進めていくことができた。

⑤ガス器具部品組立 [リンナイ(株)]

納入カードを色分けする等、利用者が分かりやすいよう工夫をすることで多くの利用者が携われる作業となった。資材の組み付け以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろし作業など、利用者に関わる工程を増やし自信にも繋がった。また、かんばん(資材)管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れることなく対応することができた。

⑥ボール洗浄 [(有)モードテラ]

ボール洗浄には、障害の程度に関わらず、多くの利用者に関わってもらえるよう努めた。また、作業工程を丁寧に伝えていくことで少しずつ自信を持って取り組めるようになった。自信を持つことで、不良品の選別についても利用者自身で判断することができた。納品業務に携わる利用者も増え、社会との繋がりを持つことができた。

⑦ハンガー組み立て [(有)エイワ商事]

工程毎に分かりやすく説明しながら役割分担をして取り組んだことで、一人一人が作業の大切さを自覚し、資材の不良を見分けることもできるようになり、質の高い製品作りに結び付けることができた。組み付け、パネ付け、型はめ、シール貼りと多くの工程にやりがいを持って取り組めるようになった。

業者とも連携を図り、利用者に合わせた工程の見直しをすることで、多くの利用者が携われるものになってきた。

2 パンダ班

①手芸 [絞り染めハンカチ等]

絞り染め製品については、染料の色決めや絞り方を話し合い、自分たちで決めたことで、仕上がりを楽しみにし、やりがいを持って取り組むことができた。また、色落ち防止に力を入れたことで、ハンカチだけでなく、タオルについてもお客様に好評で、ロビー販売や各種バザー販売等の際には「きれいだね、頑張ってるね」と声を掛けてもらうこともあり製品作りの喜びに繋げることができた。

脱臭製品は、シンプルな柄が好評であり、マスコット製品は、季節に合わせた商品に力を入れたことで、バッジなどが販売先でも好評で、地域との交流にも繋げることができた。

②カード巻き [(株)コロン製絲]

機械の巻き方が安定しているかを定期的を確認することで、カードをまっすぐに差し込むことを意識でき、作業への意識を高めることができた。糸が歪んで巻き方が安定しない際は業者と連携を図り、機械の点検や扱い方の確認をしたことで、利用者も安心して取り組むことができ、不良品の減少にも繋げることができた。カード巻き後の糸の汚れを確認するブラシ掛けについても、利用者が協力して取り組むことができた。

③ P P バンド [(株) エルスタット]

新たに取り組んだ作業であったが、生産量についても徐々に増え、安定した資材の供給を受けることができた。作業工程を業者と確認しながら利用者の特性に合わせたものに定め、1つずつ説明しながら作業を進めていくことで役割を把握し正確に取り組めるようになった。多くの利用者が取り組める作業となり、協力して取り組む中で協調性や責任感を養うことができた。

創作的活動報告（ときわ・小規模共通）

1 療育活動

音楽療法は、毎月外部講師を招いて行い、利用者に歌う楽しさや楽器の音色、音を体で表現することなど音楽の色々な楽しみ方があることを感じ取ってもらうことができた。また、利用者が希望した曲を皆で歌ったり、音楽に合わせた体操を取り入れたりすることで、音楽療法を楽しみにする利用者も増え情緒の安定にも繋がった。

2 文化活動

貼り絵や絵画は、季節に合わせた作品や作品展に向けて合同作品を活動班ごとに協力して作ることで、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感に繋げることができた。

フライングディスクや、ボッチャ等の慣れ親しんだ運動を通して、ルールや順番を守ることの大切さを学び、譲り合い、助け合う協調性を養うことができた。また、利用者の体力の維持・向上を目的として、隔月で外部講師を招いたストレッチを実施したことで、日々の生活の中での健康に対する意識付けにも繋げることができた。

文化活動を通して利用者の施設生活にメリハリが付き、笑顔も増え余暇の過ごし方や興味の幅を広げることに繋がった。

3 クラブ活動

① スポーツクラブ

予定していた近隣公園での活動も実施することができた。バスで近隣公園へ移動し、集団でウォーキングをすることで、団体行動や集団でのルールを身につけることができた。フライングディスク、キャッチボール、パドミントン、ボッチャ等の活動に加え、江南市市民体育会館を利用し、大会に向けた練習を行うことで、本番への意欲に繋げることもできた。各活動を通して体力の維持・向上の他、生産活動への活力にも繋がった。また、季節に応じた工作・運動や天候に応じてDVD鑑賞も取り入れ、総合的な活動を行うことができた。

年間12回実施

②音楽クラブ

利用者の希望を取り入れ、1年間の計画を立てて実施した。クリスマス会の発表に向けて自分達で鈴を作成、練習をした。発表時は緊張した姿も見られたが、しっかりと皆の前で音色を響かせることができた。年間を通して体操(ブンバボン)をクラブの中に取り入れ、音楽を通して楽しみながら体を動かすことができた。

外部講師を招いてオカリナの演奏を聴く機会や季節に合わせたカルタ等を取り入れることで活動の幅も広げることができた。

年間12回実施

その他の活動報告(ときわ・小規模共通)

1 余暇活動

①社会見学

公共交通機関である長良川鉄道を利用し、郡上八幡まで出かけた。長良川鉄道では、席を譲り合いながら車窓からの景色を楽しみ、郡上八幡では、グループごとに街並みを散策し、郡上の古い歴史を感じることができた。1日を通し、楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーを身につける機会となった。

実施日 平成28年9月15日

郡上八幡散策、長良川鉄道

②経済活動

日頃の生産活動を離れ、河川環境楽園やバナナ園等色々な所へ出掛けたりフラワーアレンジメントを体験したりすることで、仲間と共に地域との交流を図ることができた。利用者が中心となり、行き先や昼食内容も計画し、自分達で楽しみを考えていく工程の充実感と金銭の価値を理解する体験ができた。

年間9回実施

③誕生会

利用者中心で誕生会を実施し、友達から祝福される喜びを感じるとともに、共に祝福する気持ちを育むことができた。

年間12回実施

④季節行事

スポーツ大会など各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取り、地域の中で社会生活を送っていることの喜びを感じることができた。

事業所内の主な季節行事

なかよし会（9月）

事業所内の運動会として玉入れやビーチボールサッカー、玉入れ、リレーに参加し楽しく交流を図ることができた。また、競技や応援を通して集団生活の協調性やマナーを身につけることができた。

クリスマス会（12月）

音楽クラブの発表やビンゴゲームを通して楽しい時間を過ごすことができた。また、おやつやケーキの飲食、サンタからのプレゼントでたくさんの笑顔が見られ楽しい時間を過ごすことができた。

2 合同行事

①第36回ときわバザー(平成28年10月30日)

利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容の見直しをしたことで、多くの利用者が施設製品や葉ボタンの販売、職員や保護者と一緒にイベントに参加することができた。広報活動にも力を入れ事前に周知を図り、合同行事や各施設・事業所を紹介するポップをときわ会場に掲示したことで、地域の方にもたくさん参加して頂き交流を深めると共に、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園（授乳スペース設置）、ときわホーム「ニコット」、畑

②交流会(平成29年1月17日)

祝賀会では、ハンドベルの演奏や食事を通して法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南市のマスコットキャラクター「藤花ちゃん」と一緒に、写真を撮ったりふれあったりし、江南消防音楽隊の演奏時には、ステージの前で法人内の他施設・事業所の利用者と一緒に踊ることもでき、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとびあ江南

3 その他

①水泳訓練(平成28年8月3日)

皆と一緒に泳ぎ方や水中歩行等の練習をしたり交流を深めながら自由に水に親しむ時間を設けたことで、水泳を楽しみながら、身体を動かす楽しさを感じることができた。

開催場所 木賀コミュニティープール

②江南市中心身障害者・児スポーツ大会(平成28年9月17日)

スポーツ大会に参加したさまざまな障害を持った人たちと共に、各種競技に参加しながら気持ちの良い汗を流し交流を深めることができた。また、近隣施設の方々との交流を深めることができた。

開催場所 江南市民体育会館

③人にやさしい作品展(平成28年11月3日～27日)

皆と一緒に作品作りを協力して行うなかで、自分の役割をしっかりと担い、やり遂げることで達成感を得ることができた。また、多くの方に作品を見ていただくこともでき、作品作りの楽しさや喜びを感じることができた。

開催場所 すいとびあ江南

④地域・福祉施設合同納涼大会(平成28年7月23日)

事前に講師の方を招いて盆踊りの練習をし、当日への意欲を高めることができた。夕方から行われた行事であったが、日頃接する機会が少ない老人施設の方や地域の方との交流や夜店の雰囲気を楽しむことができた。事前に練習をしたこともあって、盆踊りに参加し楽しく踊ることができた。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

⑤地域・福祉施設合同運動会(平成28年10月15日)

競技を楽しみ、お互いに応援することで連帯感や協調性を身につけることができた。また、競技や児童によるお遊戯を通して、地域や近隣施設の方たちと楽しく交流を図ることもできた。風船につけて飛ばしたメッセージカードについても、返事が届き、運動会の思い出を振り返るきっかけとなり楽しさも倍増された。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

平成28年度 ときわ作業所・江南市心身障害者小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 21	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4. 21 ～5. 5	藤まつり (奇数日参加)
7. 7	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5. 22	こどもフェスティバル
7. 23	地域・福祉施設合同納涼大会	地域・施設合同委員会	6. 5	きそがわほのぼのまつり
7. 26	あゆみエンジョイSummer			
8. 3	水泳訓練 (木賀プール)	障害者 (児) 連絡協議会		
8. 25	歯科検診	尾北歯科医師会		
9. 7	なかよし会	江南市民体育会館		
9. 15	社会見学 (郡上八幡)			
9. 17	心身障害者(児)スポーツ大会 (江南市民体育会館)	障害者 (児) 連絡協議会		
			9. 18	くるみの里ふれあいガーデン
			9. 29	古知野高校文化祭
			10. 1	江南市民まつり
			～ 2	
10. 5	いも堀り		10. 9	ふくし江南ふれあいまつり
10. 12	お芋会			
10. 15	地域・福祉施設合同大運動会	地域・施設合同委員会		
10. 30	第36回ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
11. 3 ～27	人にやさしい作品展 (すいとびあ江南)		11. 12 ～13	収穫祭
			11. 27	コスモスまつり
12. 22	クリスマス会			
1. 17	交流会(すいとびあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
2. 21	健康診断	藤原医師	2. 21 ～26	猫づくし展
			3. 12	たけのこまつり いずみまつり
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		愛知教育大学	12名 (8月～12月)
誕生会	12回実施		尾北看護専門学校	11名 (1月～3月)
クラブ活動	9回実施			
経済活動	9回実施			
避難訓練	2回実施			
保護者会	12回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1 市町村別

平成29年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	31人	17人	48人	9人	15人	24人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	33	19	52	9	15	28

2 障害支援区分別

平成29年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	2人	1人	15人	9人	6人	33人
女	0	0	6	4	9	0	19
合計	0	2	7	19	18	6	52

3 年齢別

平成29年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	2人	5人	15人	8人	2人	1人	33人	36.1歳
女	0	7	1	8	2	1	19	38.4
合計	2	12	16	16	4	2	52	36.9

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,008人	955人	1,061人	1,007人	1,001人	1,050人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	21日	22日
1日当たり 平均利用人数	48.0人	47.8人	48.2人	48.0人	47.7人	47.7人
契約人数	53人	53人	53人	53人	53人	52人
利用率	90.6%	90.1%	91.0%	90.5%	89.9%	91.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,020人	1,031人	981人	884人	944人	1,107人	12,049人	1,004.1人
稼働日数	22日	22日	21日	19日	20日	23日	254日	21日
1日当たり 平均利用人数	46.4人	46.9人	46.7人	46.5人	47.2人	48.1人		47.4人
契約人数	52人	52人	52人	51人	51人	52人	627人	52.3人
利用率	89.2%	90.1%	89.8%	91.2%	92.5%	92.6%		91.2%

利用率 定員55名のところ契約人員52人 平均利用人数47.4人 利用率91.2%

年間延べ12,049人が利用

年間稼働日数 254日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
28年度	92,059,960円	3,897,242円	95,957,202円
27年度	86,114,834円	3,789,263円	89,904,097円
差引	5,945,126円	107,979円	6,053,105円
前年比	106.9%	102.8%	106.7%

利用料収入は、年度途中で2名の退所者、新規利用者が1名と計1名の減少となったが、障害支援区分が上がったことにより、6,053,105円の増収となった。

(2) 日中一時支援

	金額
28年度	55,398円
27年度	186,000円
差引	-130,602円
前年比	29.8%

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
28年度	5,946,800 円
27年度	6,187,138 円
差引	-240,338 円
前年比	96.1%

前年度に比較して、額で240,338円、率で3.9%の減収であった。

(2) 内訳

① 自主作業収入

	金 額
28年度	2,106,169 円
27年度	2,556,340 円
差引	-450,171 円
前年比	82.4%

② 下請作業収入

	金 額
28年度	3,840,631 円
27年度	3,630,798 円
差引	209,833 円
前年比	105.8%

自主作業収入は、前年度に比較して450,171円の減収であった

下請作業収入は、前年度に比較して209,833円の増収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合 計
		33人	19人	52人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	15	13	28
	自立(見守り・声掛け)	18	6	24
排 泄	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	22	11	33
	自立(見守り・声掛け)	11	8	19
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	13	13
	自立(見守り・声掛け)	—	6	6

日中一時支援事業の状況(年間7名・延べ利用日数10日)

1 契約状況(江南市)

平成29年3月31日現在

市町村名	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
江南市	5人	2人	0人	0人	7人

2 障害支援区分

平成29年3月31日現在

区分	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
区分1	1人	0人	0人	0人	1人
区分2	1	1	0	0	2
区分3	3	1	0	0	4
区分4	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0
合計	5	2	0	0	7

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	児童		成人		合計	平均年齢
	12~15歳	16~18歳	18~19歳	20~29歳		
男	4人	1人	0人	0人	5人	14.0歳
女	1	1	0	0	2	14.5
合計	5	2	0	0	7	14.1

平成28年度 ときわホーム 事業報告書(案)

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 施設種別 指定共同生活援助事業所 [共同生活援助(介護サービス包括型)事業]
 施設名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助 6名(現員 6名)
 職員等 [職員]・正規6名・契約3名・パート3名 計12名

職員 (人)

	施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	1	1	0	4	6
女	0	0	(3)	3	3 (3)
合計	1	1	(3)	7	9 (3)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

(1) 共同生活援助

利用者がホームで楽しく、充実した共同生活を送るために入浴、排せつ及び食事等の援助や相談、調理、洗濯、掃除等の日常生活上の支援を行った。

生活面では、利用者の生活習慣の違いが出てくるため、小さなトラブルが日々の生活の中でよく起こり、話し合いをすることが多かった。そのため利用者の気持ちや考えを整理したり助言して、お互いのことを理解し合うよう支援した。

ホームの利用は、週末を家庭で過ごすことで気分転換をしていたが、保護者の事情等からホームで過ごす利用者が増え、安定した生活に向け支援を行った。

ホームの一日の平均利用人数は4.8人で利用率は80.5%であった。利用料収入は、休日利用が増えたことによる増収もあり、額で昨年度より688,067円、率では7.1%の増収であった。

事業内容

1 事業支援

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、グループホームでの生活の充実と地域への積極的な参加を図った。

食事は、日中利用している事業所の給食も配慮し、日々の身体状況や健康状態に応じた食事の提供に努めた。また、事業所の身体測定の結果や体重の増減の推移も見ながら食事を提供し柔軟に対応した。特に夕食は、季節感のあるメニューを献立に取り入れたり、誕生者リクエストメニューを加えたりと楽しみの持てる食事を提供した。

[主な取り組み]・行事食 その都度（忘年会等）
・誕生者リクエストメニュー その都度（誕生者が希望した一品）

2 健康支援

利用者の健康管理は、日中活動の事業所の看護師とも情報交換を行ったり、バイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、感染症対策として11～3月を予防期間として位置付け、消毒清掃等の徹底や、うがい・手洗いの徹底をし感染予防の強化に努め、今季は利用者全員健康であった。

3 余暇支援

①外出・休日余暇活動

余暇時間や休日を利用しホーム近辺の散策を兼ねて外出した。利用者間で行き先や食事について話し合い、利用者主体の計画で行うことに努めた。事前に店の場所や献立等の説明をすることで、当日を迎えるまで楽しみを持って過ごすことができた。

[実施回数] 年3回実施

[主な行き先] コンビニエンスストア、ファミリーレストラン等

②誕生会

誕生者がリクエストしたメニューを夕食に加えた食事を全員で食べる際、誕生者をお祝いし一年間健やかに過ごすことが出来たことを皆と話しながら楽しい会食時間を過ごすことができた。

[実施回数] 年6回実施

③季節行事

春の花見は曼陀羅寺の藤まつりに出かけ公園内を散策したり、色々な出店で昼食を兼ねた買い物を楽しんだ。秋には十五夜の月見のお供えをし、夕食の時間を楽しんだり、年末の忘年会ではホーム関係職員も一同に集まり一年間の思い出を語り合ったり、利用者による歌合戦をして利用者職員が一緒になって楽しむことができた。

[実施回数] 年3回実施

4 地域生活支援

近隣施設が地域住民の方たちを交えて合同で行う夏の納涼行事「地域・福祉施設合同納涼大会」へ参加した。夜間に掛けての行事だったが、保護者も一緒になって夜店の雰囲気を楽しんだり盆踊りを楽しむことができた。また、月2回のゴミ出しの日は、指定の収集場所に持っていき地域の方たちと挨拶を交わしながら分別処理を行った。

〔実施回数〕年1回実施

〔主な行き先〕ジョイフルむつみランド

5 中期計画の平成28年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

ア 日課の見直し

- ・ 利用者同士で決めた日課は習慣化してきたが、利用者会議による話し合いは必要であり、職員による調整や助言を行った。
外出活動などホーム外の活動は、皆意欲的に話し合い実施できた。

イ 利用者支援の見直し

- ・ 支援員と世話人による会議は、職員間の意思疎通を図ることができ、世話人の利用者対応の幅も広がった。

平成28年度 ときわホーム 行事報告

月日	行事等	月日	関係団体行事
4. 1	誕生会		
29	曼陀羅寺花見会		
5			
6			
7		7.23	地域・福祉施設合同納涼大会 [合同行事運営委員会]
8.28	誕生会		
9. 9	誕生会		
10			
11. 4	避難訓練		
7	お月見		
12.27	忘年会		
1.19	誕生会		
1.26	誕生会		
2.14	誕生会		
3. 7	避難訓練		
[その他] 家族会 [4回実施]			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況 (市町村別)

平成29年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

平成29年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	3	3	0	0	6
合計	0	0	3	3	0	0	6

3 年齢別

平成29年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	4	2	0	6	46.5
合計	0	0	0	0	4	2	0	6	46.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	156人	140人	148人	149人	141人	158人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	5.2人	4.5人	4.9人	4.8人	4.5人	5.3人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	86.7%	75.3%	82.2%	80.1%	75.8%	87.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	142人	155人	146人	130人	140人	157人	1,762人	157人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	31日
1日当たり平均利用人数	4.6人	5.2人	4.7人	4.2人	5.0人	5.1人		4.8人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	76.3%	86.1%	78.5%	69.9%	83.3%	84.4%		80.5%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数4.8人 利用率80.5% 年間延べ1,762人が利用

年間稼働日数 365日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先			人数
就 労			0人
サ 障 害 ビ 福 祉 社	生活介護		6人
	就労移行支援		0人
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
地域活動支援センター	I型	0人	
	II型	0人	
	III型	0人	
合 計			6人

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	共同生活援助	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
28年度	7,703,721 円	720,000 円	1,944,000 円	10,367,721 円
27年度	7,015,654 円	720,000 円	1,944,000 円	9,679,654 円
差 引	688,067 円	0 円	0 円	688,067 円
前年比	109.8%	100.0%	100.0%	107.1%

平成28年度 江南市心身障害者小規模授産施設

事業報告書(案)

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域活動支援センター(Ⅲ型)
事業所名	江南市心身障害者小規模授産施設
所在地	江南市後飛保町高瀬66番地
定員	概ね15名(現員14名)
職員数	正規4名・契約1名・パート1名 計6名

職員 (人)

	施設長	事務員	指導員		合計
			副主任	指導員	
男	1	1	1	1	4
女				1(1)	1(1)
合計	1	1	3(1)		5(1)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

日中帯における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行ってきた。

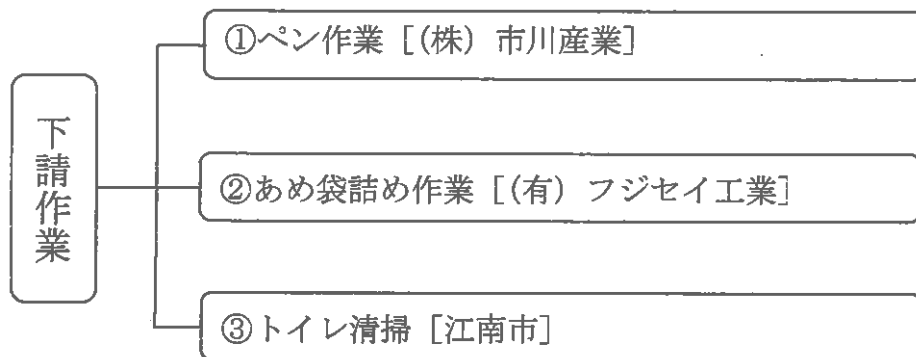
下請作業は、親会社の生産計画により時期による作業量の増減は見られたが、指定期日に遅れることなく仕上げる事ができた。

ガーデニングについては、季節に合わせた花や野菜を水やりや草取りをしながら育てることで、季節を感じる事ができた。また、個々のプランターに植えた朝顔の観察記録を作り、成長の過程を楽しみながら責任感を持って育てる事ができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた提供ができた。

施設の稼働日数は254日、平均利用人数は12.8人で利用率は91.6%であった。

3 生産活動



4 中期計画の平成28年度の取り組みについて

※ときわ作業所と一体で実施

生産活動報告

下請作業

①ペン作業 [(株)市川産業]

作業の種類、工程共に多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程も増えてきており、丁寧かつ正確に行うことができた。資材の受け渡しは親会社の生産予定により急ぐこともあったが、事前に調整しながら連携を図ることで、施設の日課や行事に合わせた配慮があり、利用者も納期に合わせるという責任感を持ち、協力して取り組むことができた。

②あめ袋詰め作業 [(有)フジセイ工業]

食品を扱う為、手洗い、消毒を徹底するなど衛生面に配慮し、利用者も責任を持って作業に取り組むことができた。袋詰め作業の種類が増えたが、あめ玉の数や色の配列に注意し、やりがいを持って作業に取り組むことができた。

③トイレ清掃 [江南市]

トイレ清掃終了後の便器消毒や手洗い場等の衛生管理に努めた。清掃手順等一連の作業工程を事前に行うことで、利用者が責任を持って清掃作業に取り組めるようになった。

創作的活動報告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

①貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

②ガーデニング

利用者の希望や季節に合わせてパンジーやマリーゴールドの栽培、ヘチマによるグリーンカーテンを水やりや草取りをしながら育成することで、季節感や清涼感を得ることができた。また、個々のプランターに植えた朝顔の観察記録を作り、成長の過程を楽しみながら育てることで責任感を養うことができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

その他の活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

行事報告

※ときわ作業所と一体で実施

利用者の状況

1. 利用状況

平成29年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	6人	8人	14人	0人	0人	14人
合計	6	8	14	0	0	14

2. 年齢別

平成29年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	5人	0人	0人	0人	6人	33.8歳
女	0	1	7	0	0	0	8	30.8
合計	0	2	12	0	0	0	14	31.2

3. 月別利用状況

平成29年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	284人	255人	295人	273人	268人	271人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	21日	22日
1日当たり平均利用人数	13.5人	12.8人	13.4人	13.0人	12.8人	12.3人
契約人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人
利用率	96.6%	91.1%	95.8%	92.9%	91.2%	88.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	275人	283人	265人	229人	260人	298人	3,256人	271.3人
稼働日数	22日	22日	21日	19日	20日	23日	254日	21.2日
1日当たり平均利用人数	12.5人	12.9人	12.6人	12.1人	13.0人	13.0人		12.8人
契約人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人	168人	14.0人
利用率	89.3%	91.9%	90.1%	86.1%	92.9%	92.5%		91.6%

利用率 定員概ね15名のところ契約人員14人 平均利用人数12.8人 利用率91.6%

年間述べ3,256人が利用

年間稼働日数254日

4. 生産活動収入の状況

	金額
28年度	838,488円
27年度	884,361円
差引	-45,873円
前年比	94.8%

平成28年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書(案)

1 あゆみの運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域活動支援センター(Ⅱ型)
 事業所名 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
 所在地 江南市後飛保町平野75番地の2
 定員 1日25名
 職員等 [職員]・正規3名・契約1名・パート8名 計12名
 [他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法
 和太鼓療法・書画・パソコン・ストレッチ) 計7名

職員 (人)

	指導員		事務員	運転手	看護師	合計
	主任	指導員				
男		1	1	(3)		2 (3)
女	1	1 (3)			(2)	2 (5)
合計	3 (3)		1	(3)		4 (8)

※ () 内はパート職員数、別掲

2 事業総括

基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業及び障害者団体等への貸館事業を行った。

地域活動支援センターの利用状況は、新規利用者として5月に2名、9月に1名、平成29年3月に1名の計4名の利用者の受け入れをした。3月31日現在で19人が契約し1日あたりの平均利用人数は7.9人であった。

入浴サービスでは、今年度から介護浴槽が導入されたことで、座位保持が困難な利用者に対して、無理なく安全に入浴サービスを提供することができた。送迎サービスにおいては、介護者の体調等の事情により通所できない利用者へ緊急時対応として増便を設けたことで利用者支援の向上に努めた。

また事務面では、新たに処遇記録等ソフトを導入した。日誌やケース記録の他、既存の書類様式の見直しを行い、日々の事務処理がスムーズになったと共に他施設・事業所との連携も今まで以上に密にとることができた。

合同行事として法人のときわバザーに参加しイベント等を通して利用者や地域の人々と交流を深めることができた。

貸館事業の利用状況は、19回で220人の利用であった。

事業内容

1 基本事業

①機能訓練（5事業 132回実施）

ア 日常生活動作訓練（24回実施 183人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（72回実施 574人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（12回実施 92人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（12回実施 84人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

オ 和太鼓療法（12回実施 82人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

②社会適応訓練（2事業 69回実施）

ア パソコン（49回実施 256人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ（20回実施 131人利用）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、講師の指導により月2回行った。

③創作的活動（2事業 238回実施）

ア 書画（6回実施 37人利用）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（232回実施 1,738人利用）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（12回実施 110人利用）

レクリエーション活動を月1回行った。（社会見学、スポーツ大会、カラオケ等）

⑤入浴（238回実施 1,462人利用）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（845回実施 2,287人利用）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（1回実施 9人参加）

消防署職員の指導のもと、異物除去の介護方法やAED（除細動器）を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導（434回実施 434人利用）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①第36回ときわバザー

ふじの木園、ときわ作業所、ニコットを会場として各施設製品、保護者製品の販売、ゲーム等、様々なイベントを通して地域の人々と交流や施設、福祉についての理解を深めていただくことができた。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園（授乳スペース設置）、ときわホーム「ニコット」、畑

3 貸館事業

・施設利用（19回実施 220人利用）

市内の障害者団体及びボランティア団体等の施設利用に対する調整・管理を行った。

4 中期計画の平成28年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

ア 軽作業、講座、日課

利用者の障害等に応じた事業の在り方として、個々の心身の状態に合った軽作業の内容、現在行っている各講座の内容や回数の見直し、身体機能の維持、向上に向け、機能訓練を重視した日課について検討した。

平成28年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等	
4. 26	あゆみ田楽会	障害者（児）連絡協議会
7. 26	あゆみエンジョイSummer	
9. 21	社会見学（セントレア）	
9. 27	避難訓練	
10. 30	第36回ときわバザー	
11. 3	人にやさしい作品展	
～27	（すいとぴあ江南）	
12. 13	あゆみクリスマス会	
1. 24	あゆみ新年会	
2. 14	介護教室	
3. 9	避難訓練	
3. 27	尾北高校交流会（ふれあい音楽会）	

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容	
5. 30	見 学	〔宮田小学校2年 28名〕
8. 2	福 祉 体 験	〔古知野中学校 3名〕
8. 24	研 修	〔尾北高校教師 2名〕
10. 13	見 学	〔宮田小学校2年 5名〕
2. 1	体 験	〔利用希望 1名〕
2. 8	体 験	〔利用希望 1名〕

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
4. 29	藤まつり

利用者の状況

平成29年3月31日現在

1 利用者年齢別 (人)

年 齢	男	女	計
20 歳 未 満	1	0	1
20 ～ 29	2	1	3
30 ～ 39	3	2	5
40 ～ 49	1	2	3
50 ～ 59	0	3	3
60 以 上	2	2	4
合 計	9	10	19

2 障害支援区分 (人)

障害支援区分	男	女	計
6	4	5	9
5	1	1	2
4	2	1	3
3	2	2	4
2	0	1	1
1	0	0	0
合 計	9	10	19

3 利用日数の構成 (人)

利用日数	男	女	計
20 日 以 上	6	3	9
10 ～ 19	1	4	5
1 ～ 9	2	3	5
合 計	9	10	19

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数242日 ・利用延べ人員1,920人 ・1日あたりの平均利用人員7.9人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	17	2	17	2	15	2	13	2	14	2	13	2	16
	機能回復訓練	6	45	6	49	6	49	7	53	5	38	7	53	6	49
	家事訓練	1	8	1	6	1	7	1	7	1	8	1	7	1	8
	音楽療法	1	6	1	7	1	7	1	6	1	6	1	8	1	7
	和太鼓療法	1	8	1	8	1	5	1	7	1	6	1	8	1	8
小計	11	84	11	87	11	83	12	86	10	72	12	89	11	88	
社会適応訓練	パソコン	4	21	4	22	4	21	5	25	3	14	5	25	4	21
	ストレッチ	2	12	1	7	2	13	2	15	2	6	1	6	1	7
	小計	6	33	5	29	6	34	7	40	5	20	6	31	5	28
	書画	1	5	1	4	1	7	1	5	0	0	0	0	0	0
創作的活動	軽作業	21	132	18	143	21	160	18	131	19	137	18	131	20	156
	小計	22	137	19	147	22	167	19	136	19	137	18	131	20	156
レクリエーション	1	10	1	10	1	8	1	9	1	8	1	9	1	10	
入浴サービス	20	95	19	113	22	140	20	113	19	116	19	110	20	129	
送迎サービス	60	167	66	174	68	192	63	167	57	163	72	178	75	194	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康指導	42	42	37	37	49	49	31	31	35	35	35	35	43	43	
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	123	314	123	334	140	389	115	320	112	322	127	332	139	376	
総計	162	568	158	597	179	673	153	582	146	551	163	583	175	648	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	15	2	15	2	15	2	16	2	17	24	183	7.6
	機能回復訓練	5	40	5	38	6	50	6	50	7	60	72	574	8.0
	家事訓練	1	9	1	7	1	8	1	7	1	10	12	92	7.7
	音楽療法	1	7	1	8	1	7	1	6	1	9	12	84	7.0
	和太鼓療法	1	6	1	6	1	5	1	8	1	7	12	82	6.8
社会適応訓練	小計	10	77	10	74	11	85	11	87	12	103	132	1,015	7.7
	パソコン	4	21	3	16	4	23	4	21	5	26	49	256	5.2
	ストレッチ	2	14	2	14	1	8	2	14	2	15	20	131	6.6
	小計	6	35	5	30	5	31	6	35	7	41	69	387	5.6
	書画	1	8	0	0	0	0	1	8	0	0	6	37	6.2
創作的活動	軽作業	19	154	19	139	17	127	20	154	22	174	232	1,738	7.5
	小計	20	162	19	139	17	127	21	162	22	174	238	1,775	7.5
	レクリエーション	1	9	1	10	1	10	1	8	1	9	12	110	9.2
入浴サービス	入浴サービス	20	135	19	121	18	106	20	132	22	152	238	1,462	6.1(日)
	送迎サービス	75	193	73	201	70	192	79	228	87	238	845	2,287	2.7(回)
更生相談	更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
健康指導	健康指導	37	37	29	29	28	28	35	35	33	33	434	434	1.0(日)
	介護指導	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	1	9	—
小計	苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	133	374	122	361	117	336	136	412	143	432	1,530	4,302	
総計	総計	169	648	156	604	150	579	174	696	184	750	1,969	7,479	

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	10	1	10	0	0	0	0	0	0	2	20	0	0
休日利用	1	10	1	20	1	8	1	8	0	0	1	8	1	8
合計	2	20	2	30	1	8	1	8	0	0	3	28	1	8

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	2	20	0	0	1	10	0	0	7	70	0.6	5.8
休日利用	1	8	2	58	1	8	1	8	1	6	12	150	1.0	12.5
合計	1	8	4	78	1	8	2	18	1	6	19	220		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	1	1	2	30	2	5	0	0	0	0	0	0	1	5
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・体験	1	1	0	0	0	0	0	0	5	11	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	2	30	2	5	0	0	5	11	0	0	1	5

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	0.5	1.0
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	14	55	1.2	4.6
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	20	67		

